

4K デュアルチャンネル プレゼンテーションスイッチャー

iCast MINI



取扱説明書

datavideo
JAPAN

目次

内容物	3
1. 概要	3
1-1. 特長.....	3
2. システム図.....	4
3. 接続	5
3-1 フロント画面	5
3-2 リア画面	6
3-3 左側.....	8
4. iCAST MINI とカメラの接続方法.....	9
4-1 コネクト・インターフェース入門 DVIP.....	9
4-2 接続インターフェース RS-422 & RS-232	10
4-3 DVIP プロトコルによる接続	13
4-4 RS-422/RS-232 プロトコルによる接続.....	16
5. iCAST MINI アプリのメインインターフェイス紹介.....	17
5-1 ホーム	17
5-2 カメラ	21
5-3 PIP.....	24
5-4 Audio	25
5-5 Setup	26
6. ファームウェア・アップデート	40
7. 外形寸法.....	41
8. 仕様	42
9. サポート窓口	43

内容物

製品には下記の部品が含まれます。

いずれかの部品が同梱されていない場合は、取扱店まですぐにご連絡下さい。

番号	品名	数量
1	iCast MINI 本体	1
2	DC/AC アダプター (12V / 2.0A)	1
3	取扱説明書 (本書)	1

1. 概要

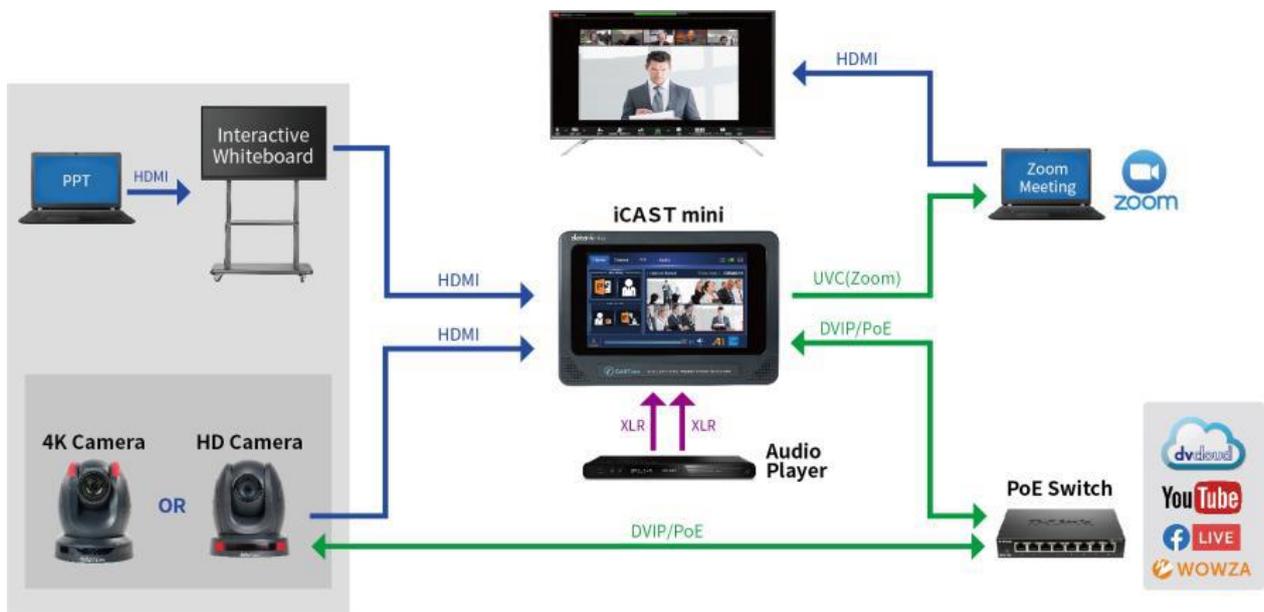
iCast Mini は、最大 2 つの 4K30 ビデオ入力を切り替えることができます。さらに、ピクチャー・イン・ピクチャー機能を備えています。このタッチスクリーン操作のデバイスは、教室、講義室、礼拝堂など、簡単な切り替え操作が必要な状況に適しています。

UVC 出力により、ノートパソコンを接続し、Zoom を遠隔授業や会議に使用することも簡単です。

1-1. 特長

- 最大 4K30/29.97/25 ビデオフォーマットに対応
- 7 インチタッチスクリーンで簡単操作
- グラフィックキーとなるカメラ位置画像をキャプチャ
- パン、チルト、ズーム、アイリス、フォーカス、シャッター、ホワイトバランスなどのカメラオプションのリモートコントロールが可能
- 様々な入力解像度を同時にアップ/ダウンスケーリングする自動検出機能を提供
- 2 系統の HDMI 1.4 ビデオ入力+1 系統の HDMI 1.4 PGM 出力インターフェースを提供
- 様々なオペレーティングシステムと互換性のある UVC 出力インターフェースを提供
- PoE 内蔵 RJ-45 イーサネットインターフェース
- オーディオ XLR (6.3mm) コンボソケットは、MIC 入力またはラインオーディオ入力が可能
- ステレオ RCA オーディオ出力×1
- オーディオミキサーおよびオーディオディレイ機能をサポート
- ピクチャー・イン・ピクチャー (PIP) 機能を提供
- DVIP プロトコルによる制御が可能

2. システム図



3. 接続

このセクションでは、iCAST MINI 4K デュアルチャンネルプレゼンテーションスイッチャーの接続方法について説明します。詳しくは、以下の各項をご参照ください。

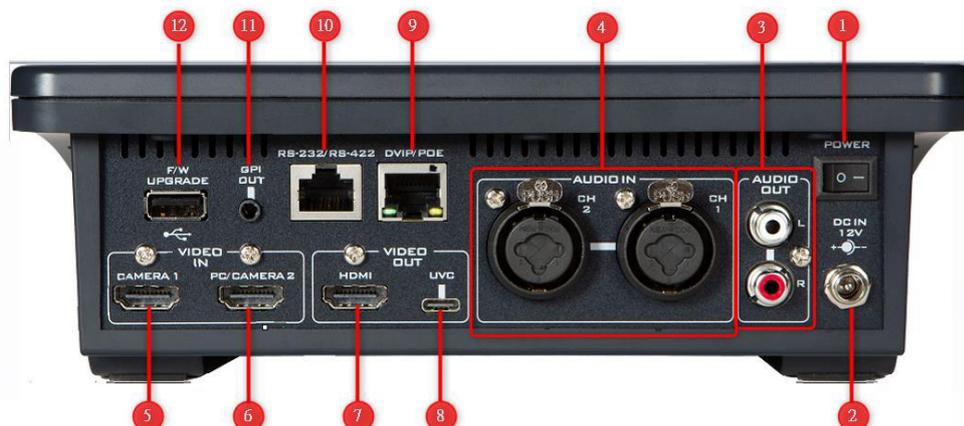
3-1 フロント画面



タッチパネルディスプレイ

iCAST MINI 4K デュアルチャンネルプレゼンテーションスイッチャーのタッチパネルディスプレイです。

3-2 リア画面



1	<p>電源スイッチ iCAST MINI 4K デュアルチャンネルプレゼンテーションスイッチャーの電源スイッチです。</p>
2	<p>DCIN 12V 電源インターフェース 同梱の DCIN 12V 電源アダプターを DC 電源インターフェースに接続してください。接続は、DC インプラグの外側の固定リングをソケットにねじ込むことで固定できます。</p>
3	<p>AUDIO OUT L/R L と R のポートは、2 つの RCA アンバランスオーディオ出力チャンネルで、ディスプレイデバイスにミックスまたは遅延されたオーディオ出力を提供します。</p>
4	<p>オーディオ入力 CH1 と CH2 は、2 チャンネルの 3 ピン XLR/1/4" (6.3mm) コンボオーディオ入力インターフェースです。3 ピン XLR は、外部オーディオ機器との接続を可能にします (ライン入力)。6.3mm は、6.3mm プラグのマイクに接続できます (マイク入力)。注意：ダイナミック 6.3mm マイクにのみ対応し、40dB の増幅が必要です (iCAST MINI は電源を供給しません)。</p>
5	<p>ビデオ入力 - カメラ 1 このインターフェースは、4K または HD カメラをビデオ入力ソースとして接続することができます。</p>
6	<p>ビデオ入力 - PC/カメラ 2 このインターフェースにより、ノートパソコンまたはインタラクティブ・ホワイトボードを接続し、パワーポイントスライドをビデオ入力ソースとして使用することができます。さらに、このインターフェースに別のカメラを接続して、2 台目のビデオ入力ソースとすることもできます。</p>
7	<p>VIDEO OUT - HDMI このインターフェースにより、外部大型パネルディスプレイに接続してモニターすることができます。HDCP ビデオが iCAST MINI 画面に表示されない場合、iCAST MINI は HDCP ビデオを出力しません。</p>

8	<p>ビデオ出力 - UVC</p> <p>このインターフェースにより、iCAST MINI をラップトップまたは PC に USB タイプ C - USB タイプ A アダプターケーブルで接続し、カメラで撮影された画像を Zoom などの会議ソフトウェアの画像ソースとして採用し、オンライン教育やライブ会議アプリケーションに使用できます。</p>
9	<p>DVIP/POE</p> <p>このインターフェースは、RJ-45 イーサネットケーブルだけで、このインターフェースから別の POE スイッチの RJ-45 イーサネットインターフェースに接続することができます。その後、RJ-45 イーサネットケーブルを使用して、POE スイッチの RJ-45 イーサネットインターフェースから PTC-285 などの Datavideo POE 対応 PTZ カメラに接続できます。そして、iCAST MINI を使用して、カメラを遠隔操作し、POE 機能でカメラに電力を供給することができます。</p>
10	<p>RS-232/RS-422</p> <p>RS-232/RS-422 インターフェースは、外部 RS-232/RS-422 機器との接続を可能にします。外部 RS-232/RS-422 コントローラとの接続にはイーサネットケーブルをご使用ください。</p>
11	<p>GPI OUT</p> <p>このポートは使用できません。この機能は将来のソフトウェア・アップデートで有効にすることができます。</p>
12	<p>ファームウェアアップグレード</p> <p>このインターフェースはファームウェアアップデートに使用する USB ポートです。ユーザーは最新のファームウェアを USB フラッシュドライブに保存し、このインターフェイスに挿入してファームウェアを更新することができます。</p>

3-3 左側



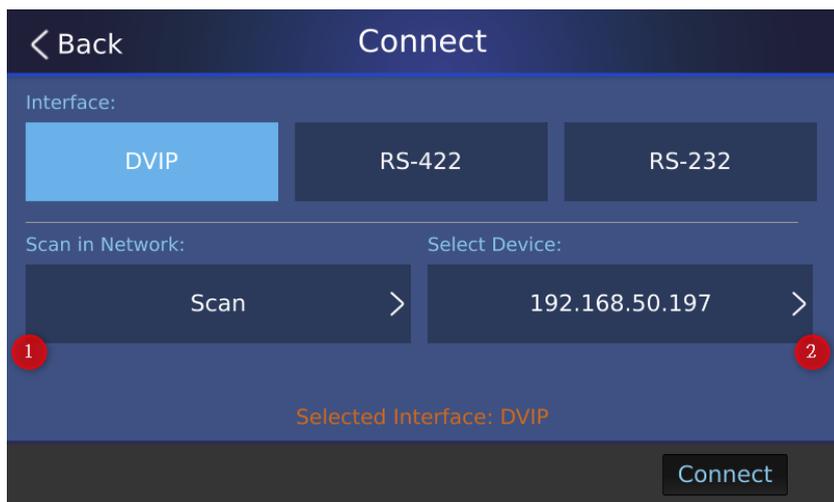
1	3.5mm ヘッドフォンモニターインターフェイス 3.5mm ヘッドフォンモニターインターフェイスです。
---	--

4. iCAST MINI とカメラの接続方法

iCAST MINI は、Datavideo が設計した、遠隔教育や会議用途の小型 4K タッチパネルスイッチャーです。iCAST MINI 内蔵アプリで、「カメラ」、「PIP」、「オーディオ」関連の設定を遠隔操作できます。

4-1 コネクト・インターフェース入門 DVIP

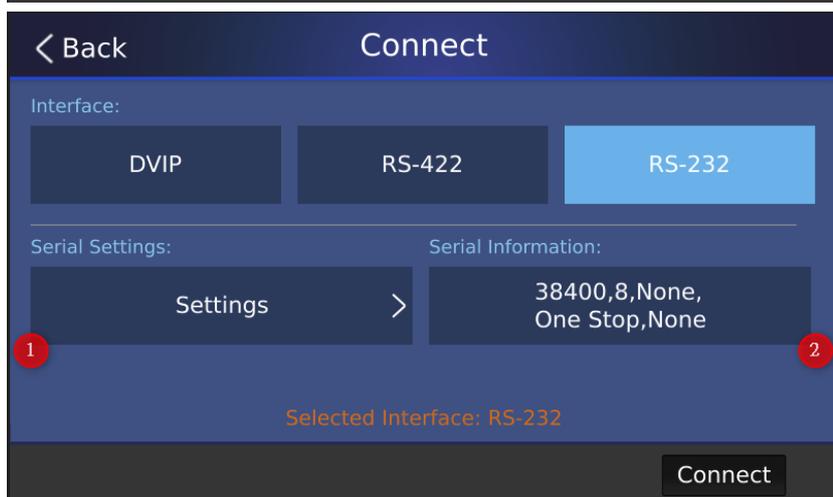
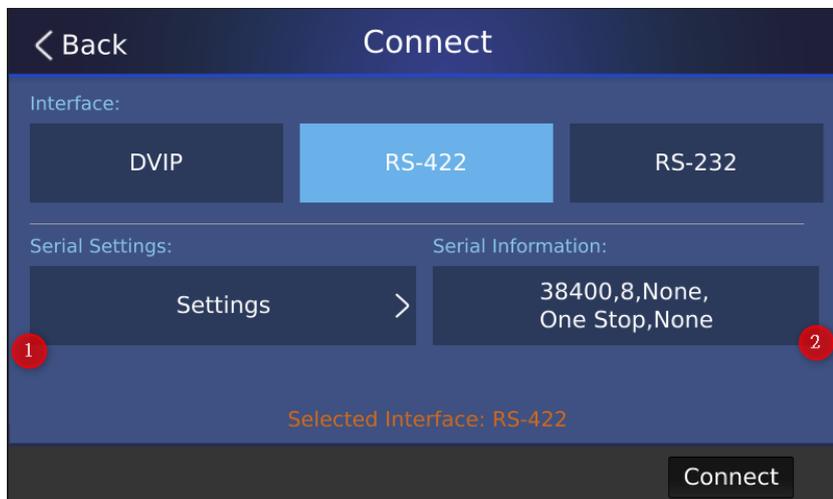
iCAST MINI の「接続」インターフェースにより、DVIP、RS-422 または RS-232 プロトコルでカメラを接続できます。iCAST MINI をオンにした後、「ホーム」インターフェースの画面右上にあるカメラアイコンをタップして、「接続」インターフェースに入ります。DVIP プロトコルの「接続」インターフェースは下図のとおりです。



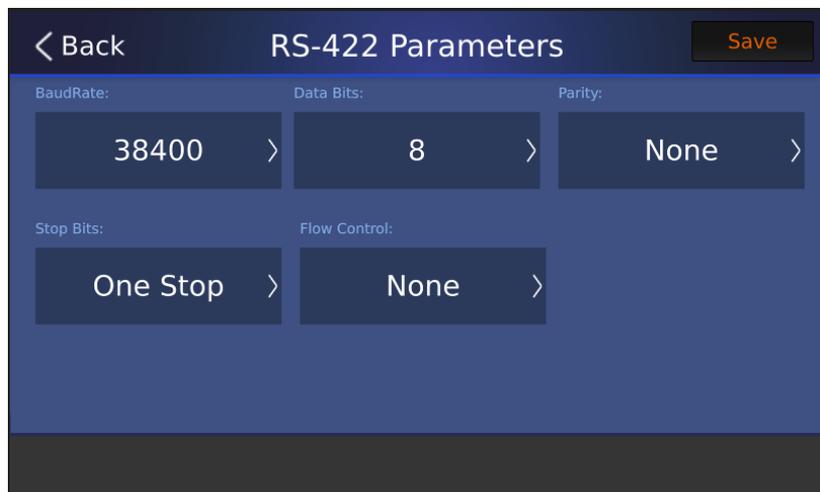
1. ネットワークでスキャン：カメラが DVIP プロトコルに従って接続されている場合、このボタンをタップして接続されているカメラを検索することができます。
2. デバイスを選択します：接続されたカメラが見つかったら、IP アドレスがこの欄に表示されます。

4-2 接続インターフェース RS-422 & RS-232

iCAST MINI をカメラに接続するには、RS-422 または RS-232 プロトコルを使用することもできます。iCAST MINI の電源を入れた後、「ホーム」インターフェースの右上にあるカメラアイコン  をタップして、「接続」インターフェースに入ります。RS-232 および RS-422 プロトコルのインターフェースは以下の図のとおりです。



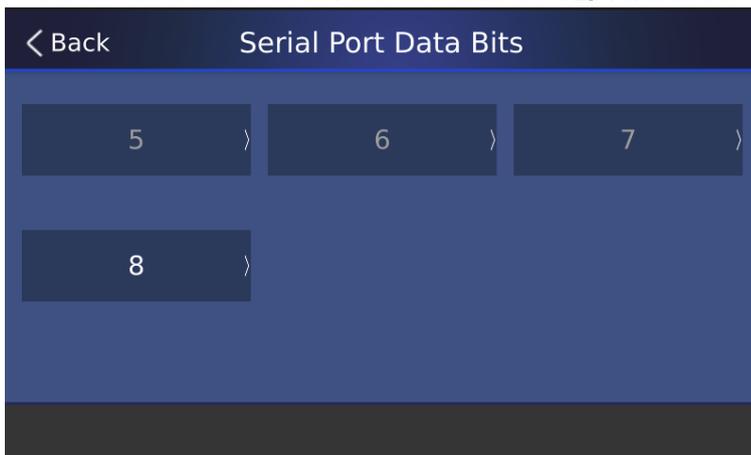
そのため、RS-422 と RS-232 の「シリアル設定」と「シリアル情報」の内容は同じです。この章では RS-422 を例に説明します。



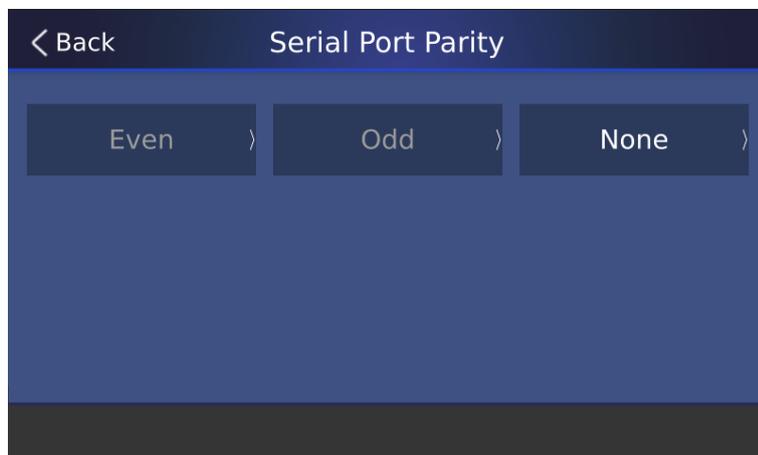
1. 設定：「ボーレート」、「データビット」、「パリティ」、「ストップビット」、「フロー制御」を含むいくつかのオプションのパラメータを設定する「RS-422 パラメータ」インターフェイスに入るには、このオプションをタップしてください。
- ボーレート： ボーレートとは、1 秒間に送信されるビット数のことです。9600、19200、38400、57600、115200 から選択できます。



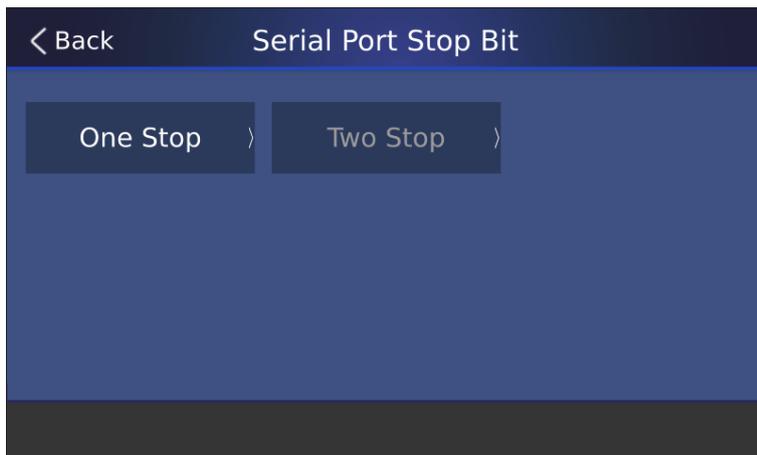
- データビット： Data Bits（データ・ビット）は、データ転送操作における実際のデータ・ビット数です。5、6、7、8 などのオプションがあり、選択できます。



- パリティ： Parity（パリティ）はシリアル通信エラーをチェックする簡単な方法です。Even（偶数）、Odd（奇数）、None（なし）の3つのオプションから選択できます。



- ストップビット： Stop bit（ストップビット）は、1つのパケット通信の最後に送信される信号です。One Stop "と "Two Stop "の2つのオプションがあります。

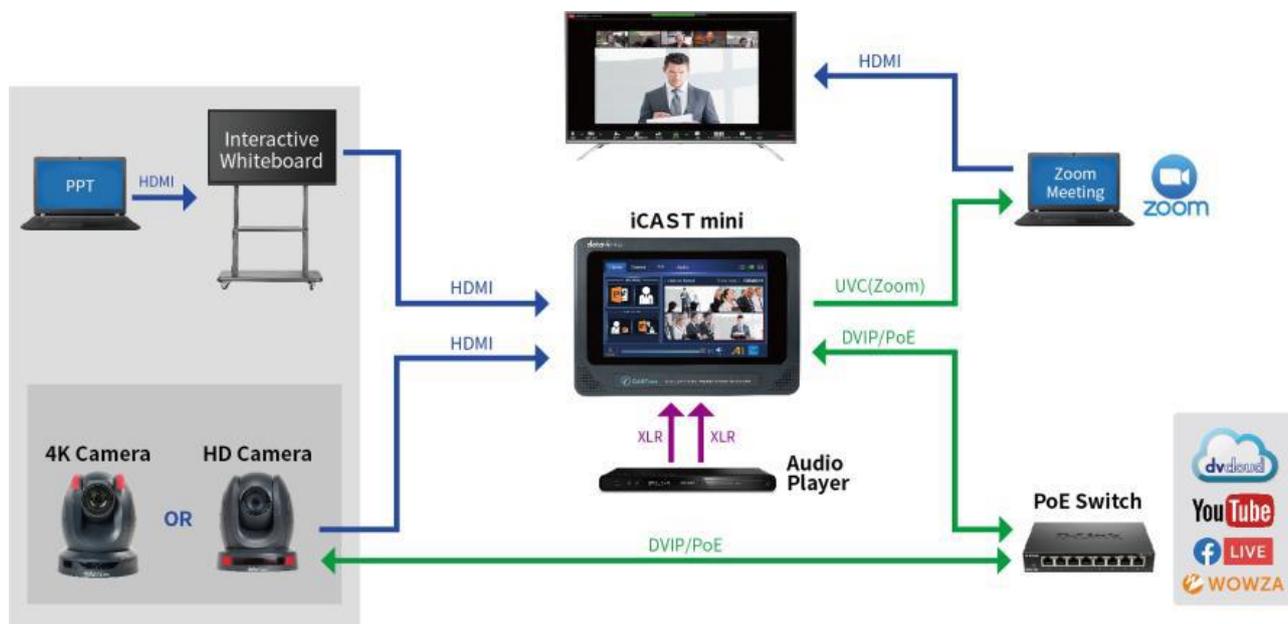


- フロー制御： 接続の片側がハードウェアまたはソフトウェアを使用して、データの送信を開始または停止するタイミングを相手側に伝えます。ハード」、「ソフト」、「なし」の3つのオプションがあります。



4-3 DVIP プロトコルによる接続

iCAST MINI を使用する前に、以下の図に従って iCAST MINI を接続してください。

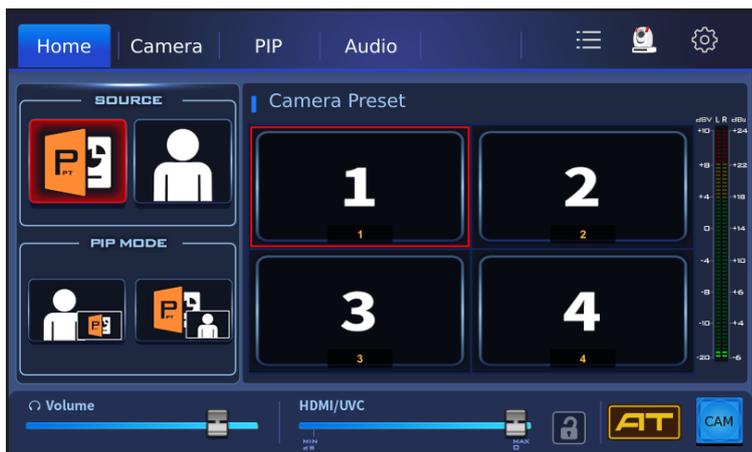


DHCP モードは、iCAST MINI およびカメラシリーズの工場出荷時のデフォルトです。接続が完了したら、iCAST MINI で PTZ カメラを制御するために、iCAST MINI とカメラが同じ LAN 内に設定されていることを確認してください。

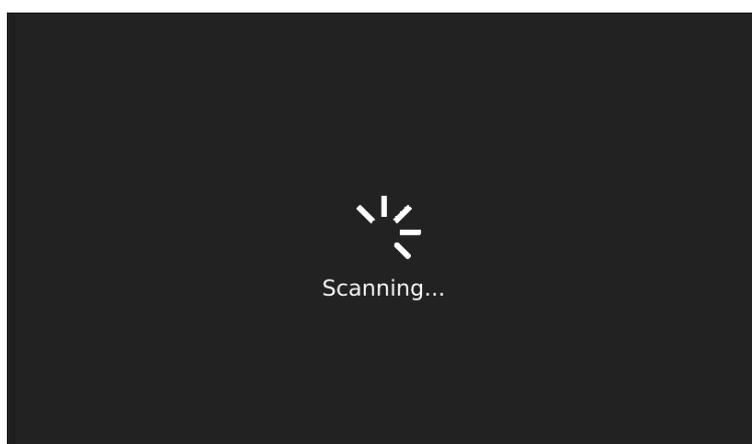
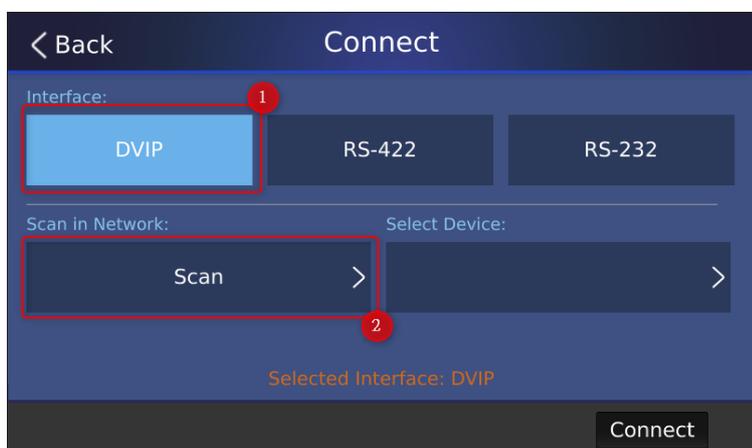
上記の図に従って接続が完了したら、まず iCAST MINI の背面パネルにある電源スイッチを押して電源をオンにします。その後、下図のような初期画面が表示されます。以下の手順に従って、iCAST MINI とカメラを接続してください。



1. iCAST MINI の電源がオンになると、下図に示す iCAST MINI アプリのメインインターフェイスが表示されます。画面右上のカメラアイコンをタップしてください。



- その後、下図に示す「接続」ページに入ります。Connect>Interface>DVIP" をタップします。その後、"ネットワーク>スキャン"で"スキャン"をタップすると、iCAST MINI は同じ LAN に設定されている接続されたカメラを自動的にスキャンします。

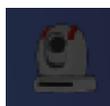


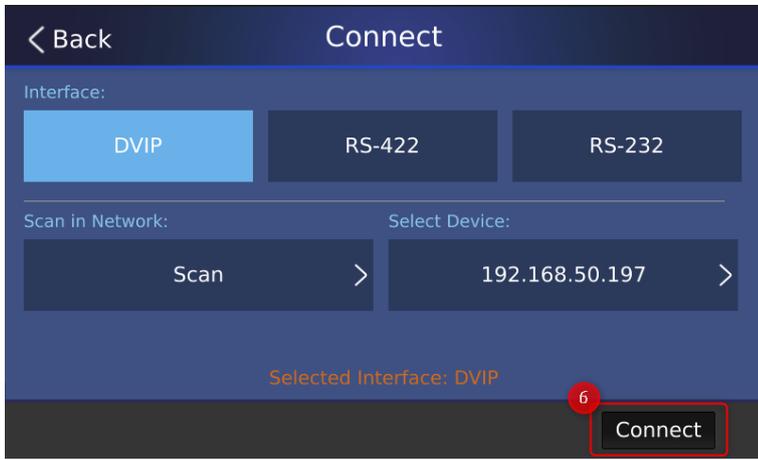
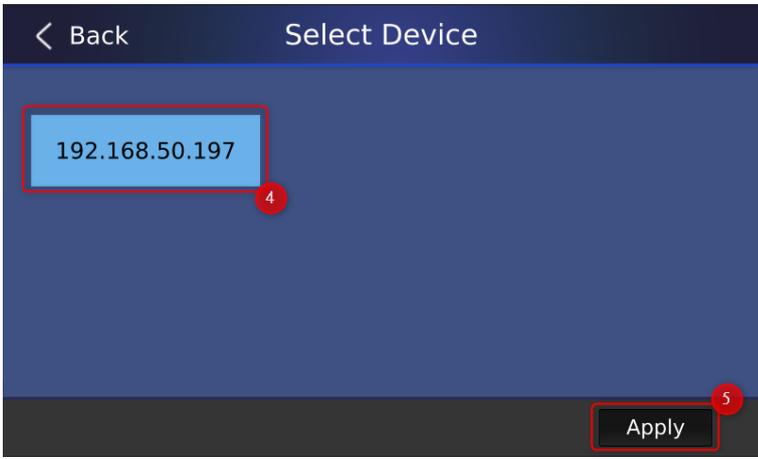
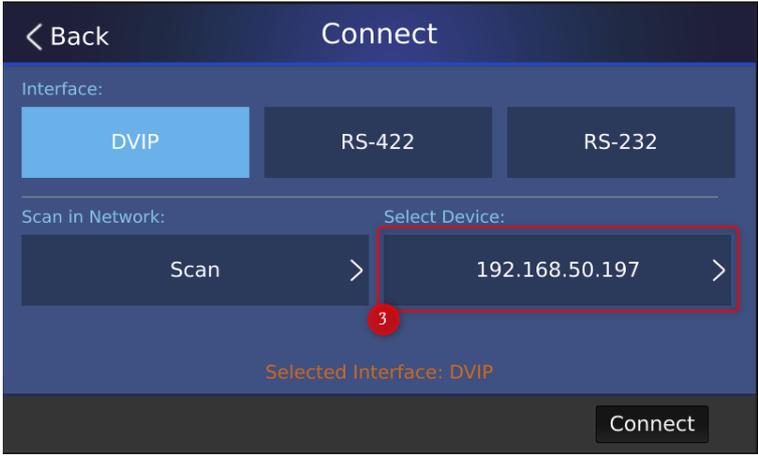
- 接続されたカメラが見つかったら、カメラの IP アドレスが "デバイスの選択" オプションに表示されます。デバイスの選択 "オプション" をタップし、接続したいデバイスの IP アドレスを選択してください。その後、"接続" ボタンをタップして接続を完了します。ホーム "タブ" の右上にあるカメラのアイコンで、接続が成功したかどうかを確認できます。

接続



未接続

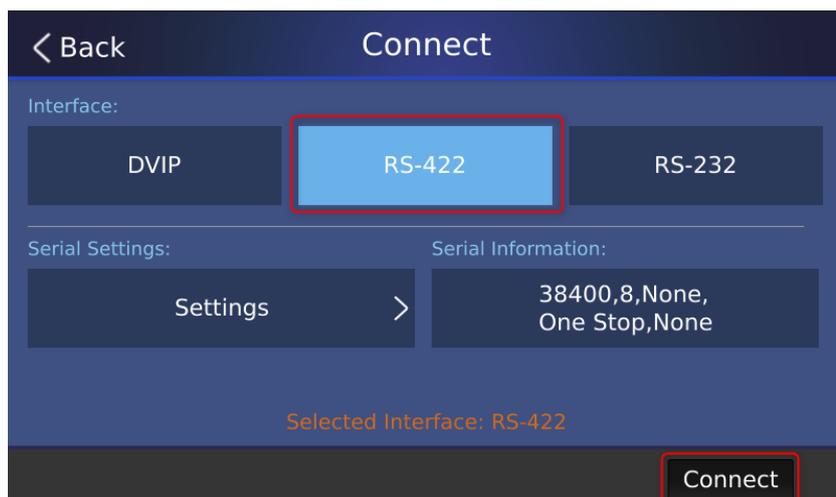




4-4 RS-422/RS-232 プロトコルによる接続

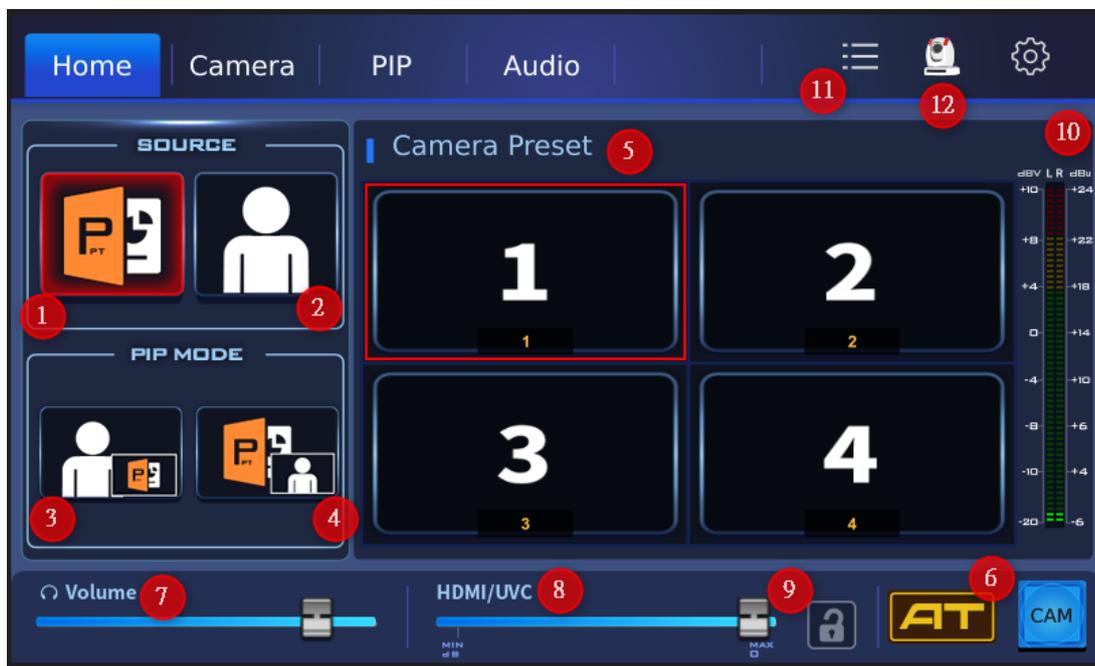
iCAST MINI とカメラを RS-422 または RS-232 プロトコルで接続する場合は、以下の手順を参照してください。この章では、RS-422 プロトコルを例として説明します。

1. iCAST MINI のリアパネルにある「RS-232/RS-422」インターフェースから、カメラのリアパネルにある RS-422 インターフェースに直接接続するには、RJ-45 イーサネットケーブルを使用してください。
2. iCAST MINI の「ホーム」インターフェースの右上にあるカメラアイコンをタップして、「Connect」インターフェースに入ります。その後、RS 422 オプションを選択してください。最後に、「Connect」ボタンを押して接続を完了します。



5. iCAST MINI アプリのメインインターフェイス紹介

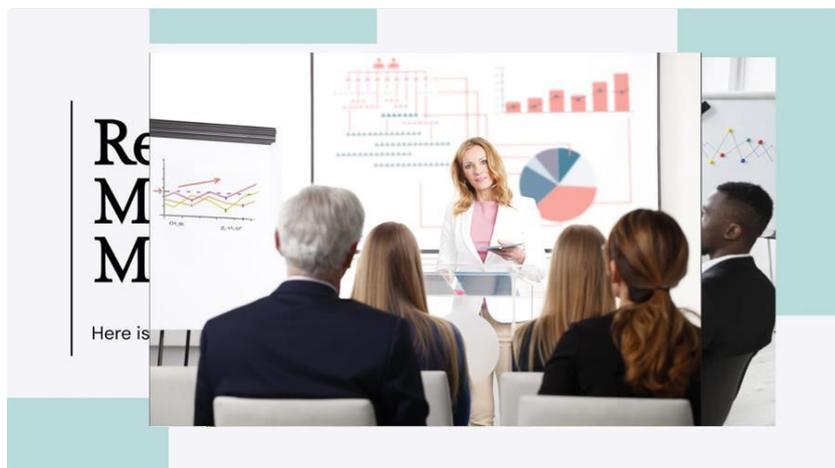
5-1 ホーム



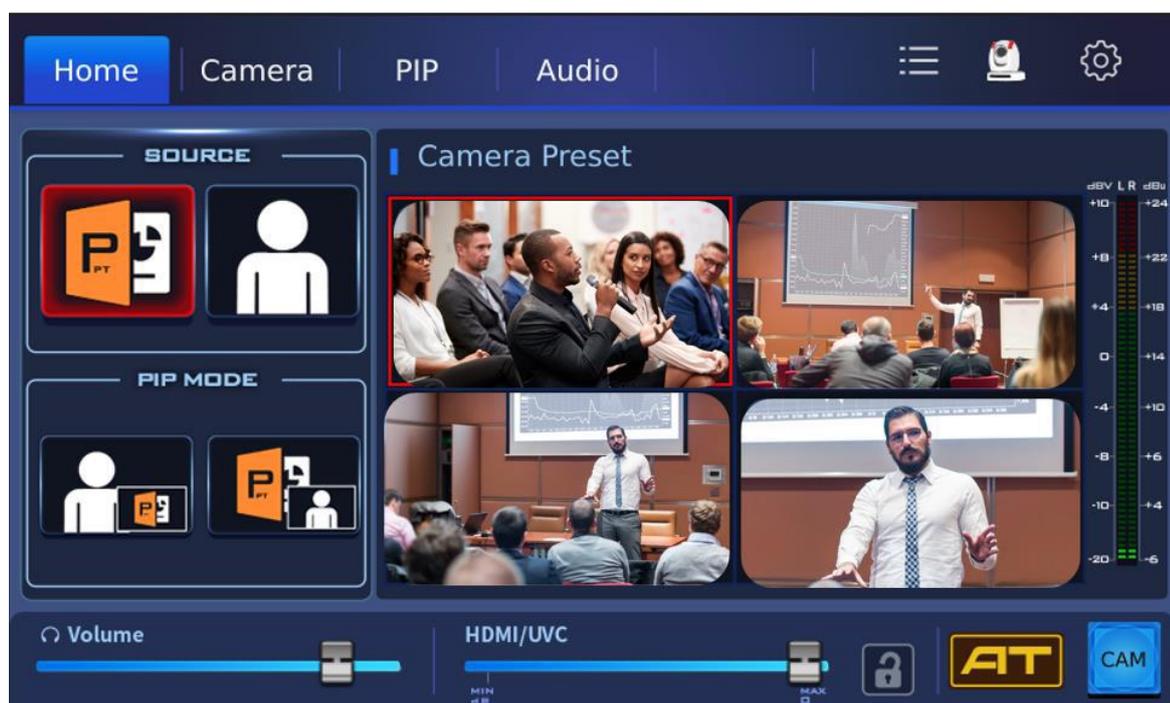
1. ソース（PowerPoint スライドモード）： ノートパソコンや PC の PowerPoint スライド画像を外部モニターに表示するには、このボタンをタップしてください。入力ビデオソースがカメラである場合、それは外部モニターにカメラで撮影されたリアルタイム画像を表示します。
2. ソース（プレゼンターモード）： 接続されたカメラで撮影されたリアルタイム画像を外部モニターに表示するには、このボタンをタップしてください。
3. PIP モード（フロント-パワーポイントスライド/リア-プレゼンター）： このボタンをタップすると、iCAST MINI に接続されている 2 つのビデオ入力ソースを「フロント-パワーポイントスライド/リアプレゼンター」PIP モードとして外部モニターに表示します。



4. PIP モード (Front-Presenter/Rear-PowerPoint Slide) : iCAST MINI に接続された 2 つのビデオ入力ソースを「フロント-プレゼンター/リア-パワーポイントスライド」 PIP モードとして外部モニターに表示するには、このボタンをタップしてください。



5. カメラプリセット 1/2/3/4 : カメラプリセットポジションが予め設定されている場合、下図のように "CAMERA>POSITION1/2/3/4 "のサムネイルがこのエリアに表示されます。



6. CAM ボタン : これは自動追尾機能をオンまたはオフにするためのボタンです。「CAM」ボタンが青色で表示され、接続されたカメラが Datavideo 自動追尾対応 PTZ カメラである場合、「CAM」ボタンを押して「CAM」ボタンが赤色で表示されると、カメラの自動追尾機能がオンになっていることを意味します。この時、「Camera Preset」エリアは下図の「Tracking Mode」に切り替わります。左側から右側へのボタンは、「Full Body」、「Half Body」、「CloseUp」を順次表しています。



「CAM」ボタンが赤く表示されているときに「CAM」ボタンを押すと、「CAM」ボタンが青くなります。この時、自動追尾機能はオフになり、画面は再び「Camera Preset」に切り替わります。

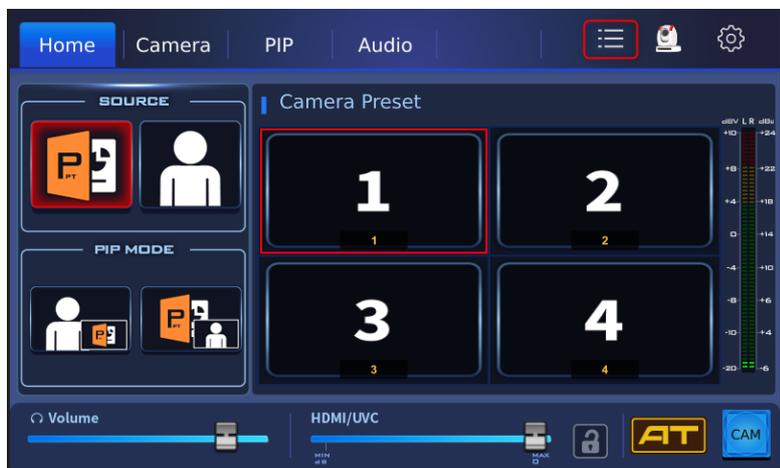
7. ボリューム このスライダーでモニターの音量を調整できます。

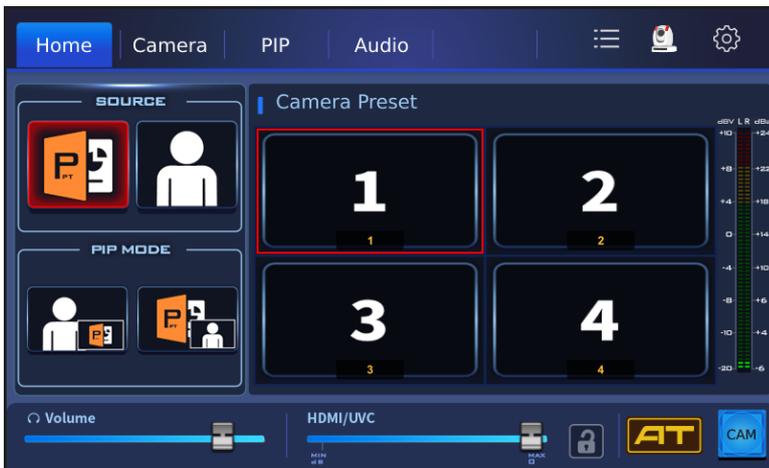
8. HDMI/UVC : メイン出力の音量調整スライダーです。

9. メイン出力の音量をロックするボタンです : このロックアイコンを押すと、メイン出力の音量がロックされ、調整できなくなります。

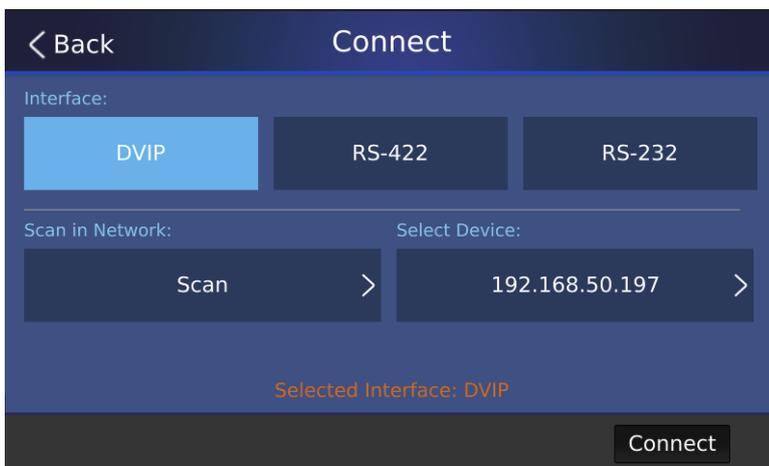
10. 音量メーター : これはメイン出力のボリュームメーターの範囲で、"Audio>HDMI/UVC "で調整できます。

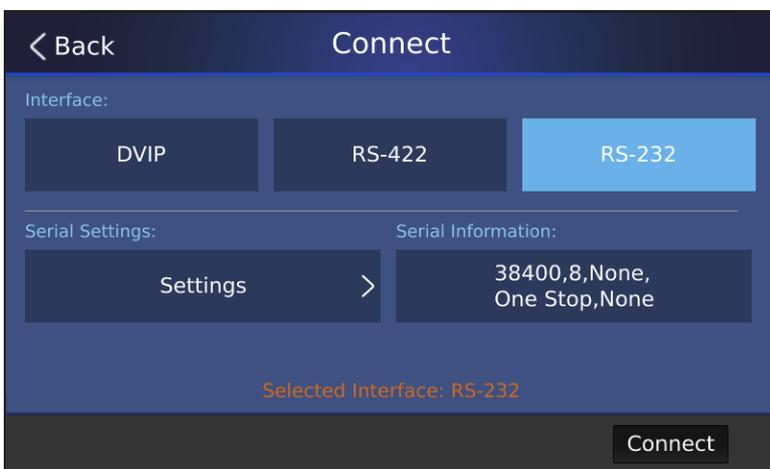
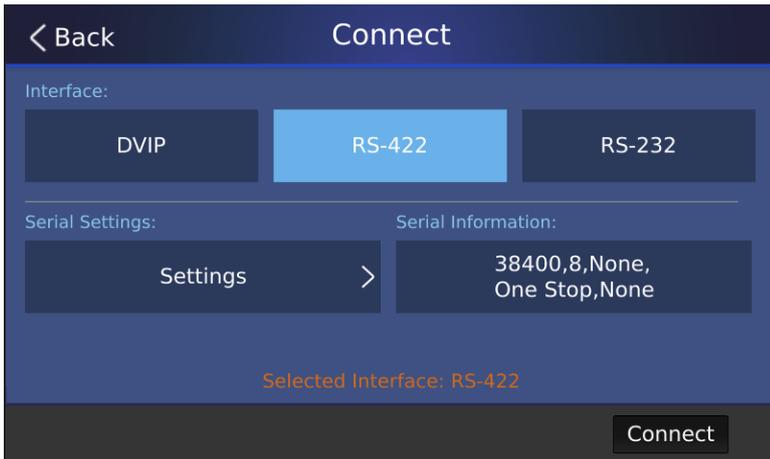
11. ホーム」レイアウト切り替えボタン : Home "ページの "Source "と "PIP "が縦モードで表示されている場合、このボタンを押すと横モードで表示されます。さらに、「カメラプリセット」エリアを隠すこともできます。ホーム」ページが横モードで表示されている場合、このボタンを一回押すと縦モードに切り替わります。





12. 接続アイコン：このカメラのアイコンを押して、下図に示す「Connect」ページに入ります。DVIPプロトコルが選択されている場合、「Scan in Network」ボタンを押すと、iCAST MINIと同じLAN内に設定されているカメラを検索できます。「Select Device」オプションで、接続するカメラのIPアドレスを選択できます。RS-422またはRS-232オプションが選択されている場合、「Settings」キーを押して関連パラメータを設定できます。この「Connection」アイコンは「Home/Camera/PIP/Audio」ページに表示されます。





5-2 カメラ



1. White Balance-Auto : このボタンを押して、オートホワイトバランス設定を適用してください。

2. White Balance-One Push : ワンプッシュホワイトバランス設定を適用する場合は、このボタンを押してください。
3. White Balance-Manual : このボタンを押して、マニュアルホワイトバランス機能をオンにしてください。「R GAIN/B GAIN」調整スライダーまたは下図に示す「+/-」ボタンを押すと、R GAIN または B GAIN の値を増減できます。「Back」ボタンを押すと前のページに戻ります。



4. SHUTTER : このボタンを押して、下図に示す「シャッター」調整スライダーまたは「+/-」ボタンでシャッタースピードを増減してください。「Back」ボタンを押すと前のページに戻ります。



5. Focus-Auto : オートフォーカス設定を適用するには、このボタンを押してください。
6. Focus-Manual : マニュアルフォーカス設定を適用するには、このボタンを押してください。このボタンを押すと、「Manual」ボタンの隣にある「+/-」ボタンでマニュアルフォーカスを調整することができます。
- 7 & 8. +/- buttons : これらのボタンを使って、フォーカスの値を手動で増減することができます。
9. IRIS-Auto : オート IRIS 設定を適用するには、このボタンを押してください。
10. IRIS-Manual : マニュアル IRIS 設定を適用するには、このボタンを押してください。このボタンを押すと、「Manual」ボタンの隣にある「+/-」ボタンで IRIS 値を手動で調整することができます。
- IRIS-Manual : 手動 IRIS 設定を適用するには、このボタンを押してください。このボタンを押すと、1111 「Manual」ボタンの隣にある「+/-」ボタンで IRIS 値を手動で調整することができます。
- 11 & 12. +/- buttons : これらのボタンを使用して、IRIS 値を手動で増減できます。
13. Zoom In : カメラレンズのズームインにはこのボタンを押してください。
14. Zoom Out : このボタンを押してカメラレンズをズームアウトしてください。
15. Lock/Unlock : ロック/ロック解除の切り替えボタンです。ロックすると「CAMERA Control」エリアは使用できなくなります。

16. Speed Control Slider : 「Zoom In」、「Zoom OUT」ボタン押下時のズームイン、ズームアウトの速度をコントロールするスライダーです。さらに、「CAMERA CONTROL」エリアのジョイスティックのスピードもコントロールできます。スライダーを上側にスライドさせるとスピードが上がり、下側にスライドさせるとスピードが下がります。

17. PTZ Control Joystick: : このジョイスティックで接続された PTZ カメラの方向を制御できます。

18. Position 1-4 : このエリアからプリセット 1~4 のサムネイルを見ることができます。

19. Store Button : 希望のプリセットポジションのパラメーターが調整されたら、このボタンを押してプリセットポジション 1-4 を起動し、希望のプリセットポジションを保存することができます。

5.2.1. ポジション 1~4 のプリセットポジションの保存方法

以下の手順に従って、ポジション 1~4 のプリセットポジションを保存してください。

注 : iCAST MINI のグラフィックキー機能は PTZ カメラの RTSP ストリーム機能によって実現されます。そのため、DVIP プロトコルが接続設定として選択されている場合にのみ、グラフィックキー機能を使用することができます。

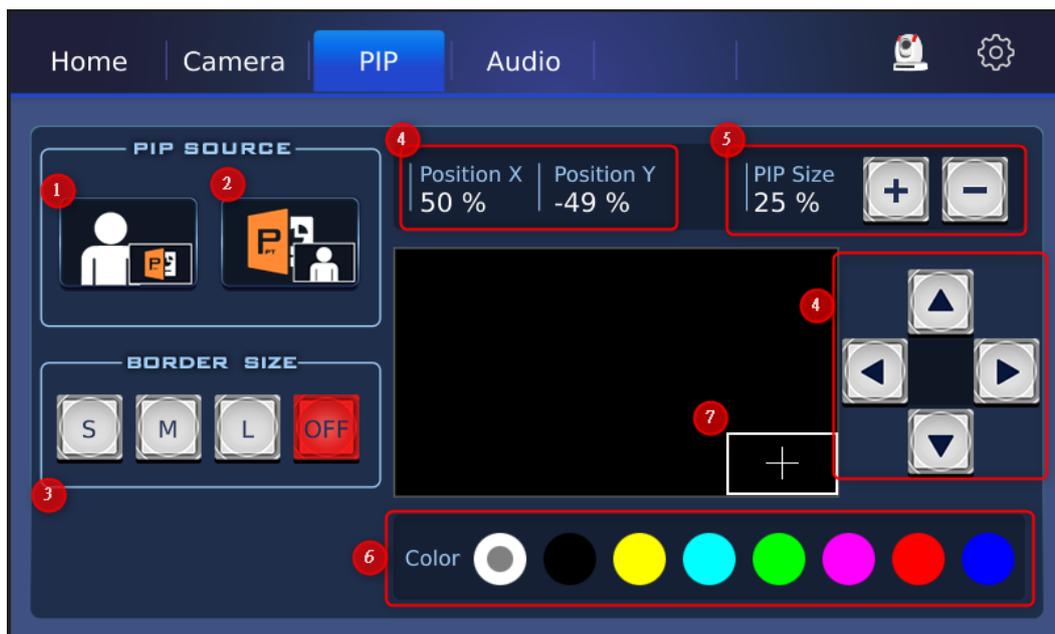
1. 事前に希望のプリセット位置とパラメータ設定を調整してください。
2. 「STORE」ボタンをタップすると、下図のように「Position 1~4」エリアが表示されます。



3. ポジション 1 を例にすると、ポジション 1 を押すと、iCAST MINI はカメラで撮影された現在の画像をプリセット ポジション 1 として保存します。さらに、カメラで撮影された現在の画像をプリセットポジション 1 のサムネイルとして使用します。

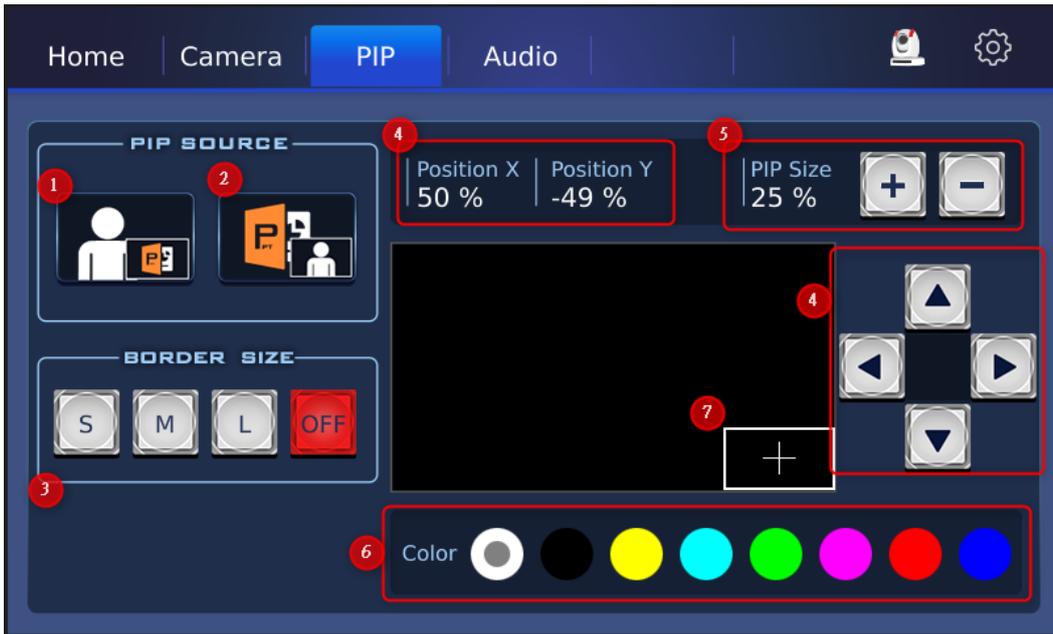


5-3 PIP



1. PIP Source (Front-PowerPoint Slide/Rear-Presenter) : Front-PowerPoint Slide/Rear-Presenter" PIP モードで iCAST MINI の 2 つの入力ビデオソースを外部モニターに表示するには、このボタンを押してください。
2. PIP Source (Front-Presenter/Rear- PowerPoint Slide) : このボタンを押して、iCAST MINI の 2 つの入力ビデオソースを「フロント-プレゼンター/リア-パワーポイントスライド」 PIP モードで外部モニターに表示します。
3. Border Size : このエリアには、「S」、「M」、「L」、「OFF」の 4 つのボタンがあり、PIP サブ画面のボーダーの太さを調整することができます。OFF "ボタンを押すと、ボーダーサイズ機能はオフになります。
4. サブスクリーンボーダー位置調整ボタンと X 軸/Y 軸位置表示 : 上下左右の矢印ボタンを使って、外部モニターの中で PIP サブ画面の位置を調整することができます。さらに、X 軸/Y 軸のパーセンテージを使用して、画面全体におけるサブ画面の境界線の関連位置を知ることができます。
5. PIP サブスクリーンサイズ +/- ボタン : この 2 つのボタンは PIP サブ画面を拡大/縮小するためのボタンです。ボタンが押されると、画面は拡大され、-ボタンが押されると、画面は縮小されます。注 : 入力 2 と出力 1 の解像度が 4K30 の場合、PIP モードの最大サブスクリーンサイズはメインスクリーンの 80% にしか達しません。
6. 色 : このエリアでは、PIP サブ画面の境界色として選択できる多くの色を提供します。お好きな色をタップして枠の色を変更してください。
7. サブ画面のサイズと位置の模式図 : 画面全体の中の PIP サブ画面の境界線を示すこの模式図により、PIP サブ画面のサイズと画面全体 (黒い部分) の中の相対的な位置を知ることができます。

5-4 Audio



1. チャンネルタイプ「Mono」ボタンを押して、オーディオチャンネルのタイプを「Mono」に設定してください。そして、「STEREO」ボタンを押して、オーディオチャンネルを「STEREO」に設定してください。
2. オーディオディレイ(ms)： ボタンでオーディオディレイを増減できます。設定が完了したら、「Apply」ボタンを押して適用してください。
3. CH1: このスライダーで、CH1 XLR の入力オーディオボリュームを調整できます。
4. CH2: このスライダーで、CH2 XLR の入力オーディオ音量を調整できます。
5. CAM1: このスライダーで CAM1 の入力音量を調整できます。
6. PC/CAM2: このスライダーで PC/CAM2 の入力音量を調整できます。
7. モニター音量調整用スライダーです； モニタリングの音量を調整します。
8. RCA: このスライダーで RCA の出力音量を調整できます。
9. HDMI/UVC： このスライダーでマスター出力の音量を調整できます。
10. ボリュームメーター： HDMI/UVC "調整スライダーで調整できます。

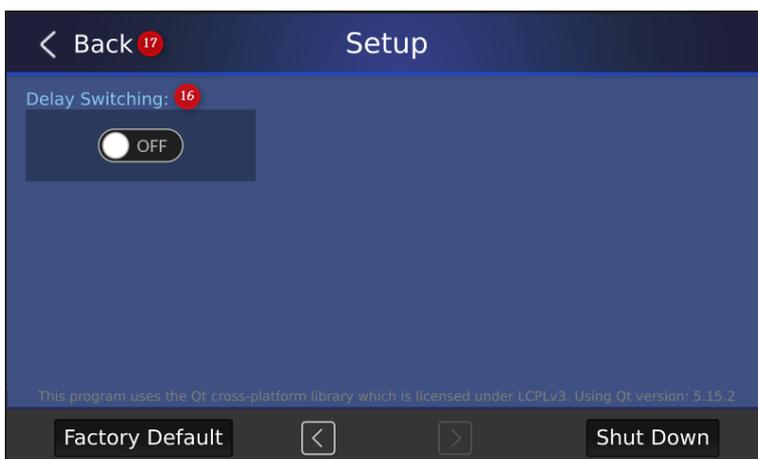
5.4.1 リアパネルの XLR オーディオインターフェースとアプリ UI のチャンネルタイプの対応関係

iCAST MINI リアパネルの XLR オーディオインターフェースとアプリの UI チャンネルタイプの対応関係については、下表を参照してください。

	CH 1 & CH 2 接続	CH1 のみ接続	CH2 のみ接続
Stereo	CH1 は CH1 音声を出力	CH1 は CH1 音声を出力	CH1 からは音声は出力しない
	CH2 は CH2 音声を出力	CH2 から音声は出力しない	CH2 は CH2 音声を出力
Mono	CH1 は CH1+CH2 の音声を出力	CH1 は CH1 オーディオを出力	CH1 は CH2 の音声を出力
	CH2 は CH1+CH2 音声を出力	CH2 は CH1 音声を出力	CH2 は CH2 音声を出力

5-5 Setup

「Home/Camera/PIP/Audio」ページの右上にある歯車アイコンをタップしてください。「Setup」インターフェースには3つのページがあります。



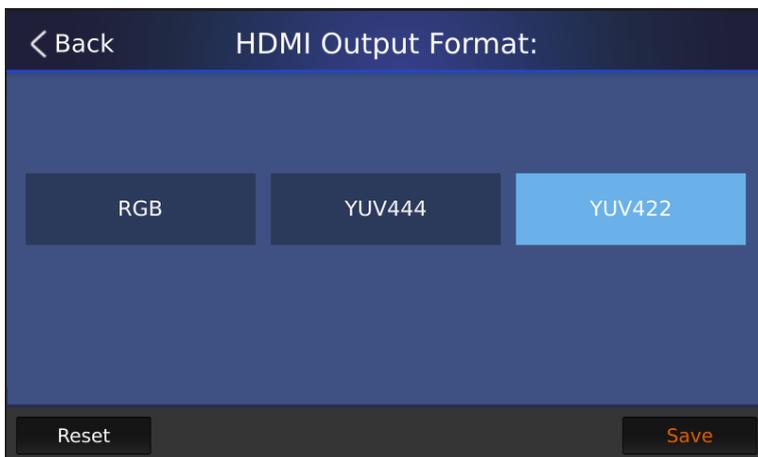
1. 言語 このオプションをタップして、英語、繁体字中国語、簡体字中国語からご希望の言語を選択し、「Apply」ボタンを押してください。「Reset」ボタンを押すと、工場出荷時の状態に戻ります。「Back」ボタンを押すと、前のページに戻ります。



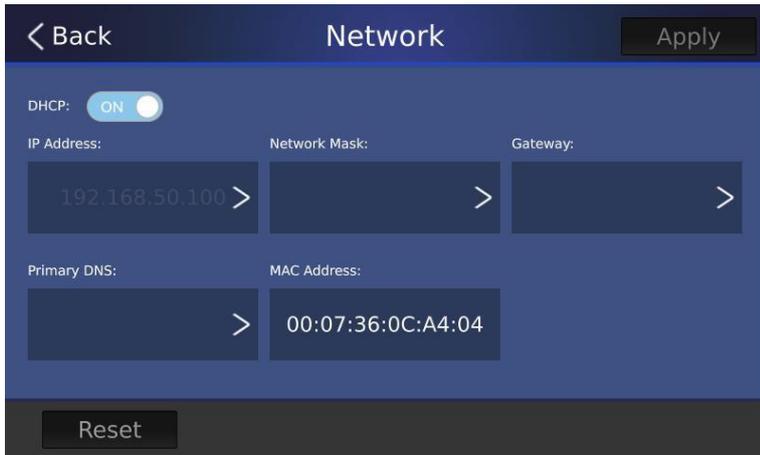
- 出力解像度：このオプションをタップして希望の出力解像度を選択し、「Apply」ボタンをタップして選択を確定してください。「Reset」ボタンを押すと、工場出荷時のデフォルトに戻ります。「戻る」ボタンを押すと、前のページに戻ります。



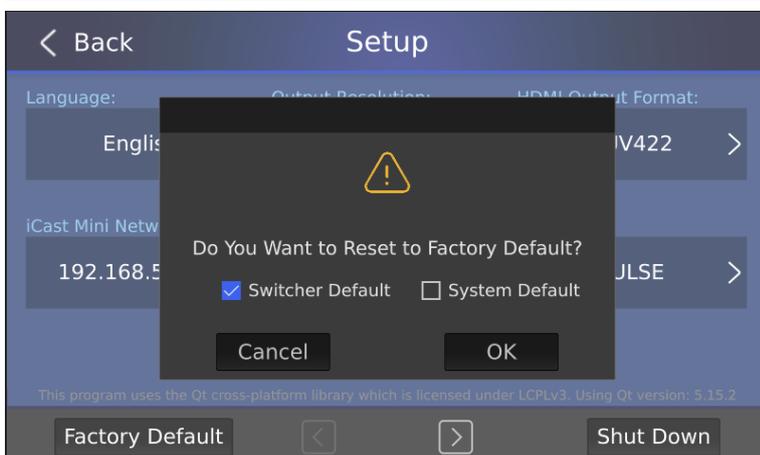
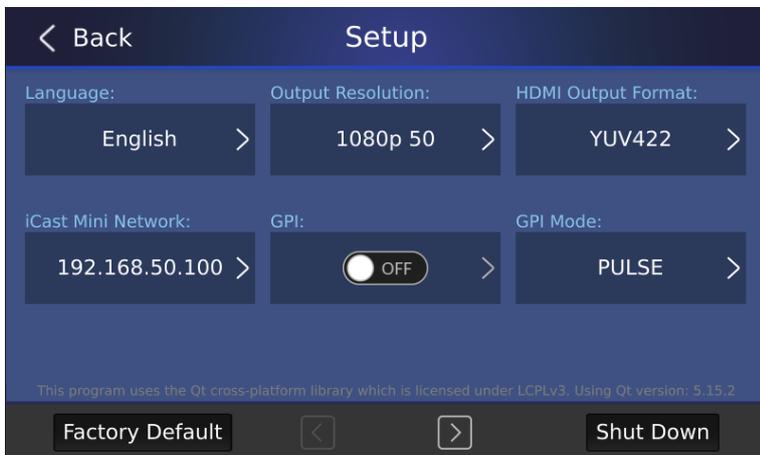
- HDMI 出力フォーマット：このオプションを押して希望の HDMI 出力フォーマットを選択し、「Save」ボタンを押して選択を確定してください。「Reset」ボタンを押すと、工場出荷時のデフォルトに戻ります。「Back」ボタンを押すと、前のページに戻ります。



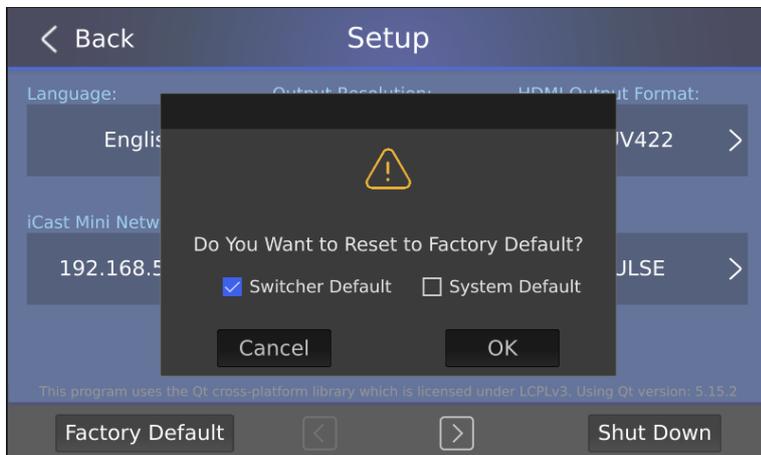
4. ネットワーク iCAST MINI の工場出荷時のデフォルトは DHCP ON であり、ユーザーがネットワーク関連のパラメータを変更する必要はありません。iCAST MINI が DHCP OFF に設定されている場合、このボタンを押してネットワーク関連のパラメータを手動で変更することができます。



5. GPI : GPI 出力は、基本的な外部制御操作に使用できます。これは GPI の ON/OFF トグルスイッチです。注：現在、この機能は使用できません。
6. GPI モード : パルスまたはレベルのトリガー信号を使用して、iCAST MINI のビデオ録画を開始または停止する機能をトリガーすることができます。注：現在、この機能は使用できません。
7. 工場出荷時のデフォルト : iCAST MINI を工場出荷時のデフォルトに戻すには、このボタンを押してください。スイッチャーデフォルト」と「システムデフォルト」の2つのオプションがあります。「Switcher Default」をチェックすると、「Home」、「PIP」、および「Audio」インターフェースの関連するデフォルト設定が再開されます。「System Default」がチェックされている場合、「Setup」ページの工場出荷時のデフォルト設定が再開されます。ただし、「言語」と「出力解像度」はリセットされません。



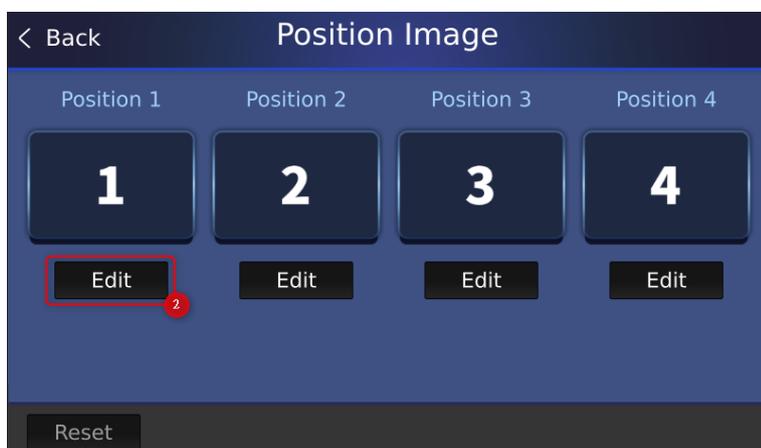
8. 左矢印ボタン：「Setup」インターフェースの次のページに移動するには、このボタンをタップしてください。
9. シャットダウン：このボタンを押すと、本体を保護するために、iCAST MINI のスクリーンが事前にオフになります。iCAST MINI の電源を切るには、iCAST MINI のリアパネルにある電源ボタンを押してください。



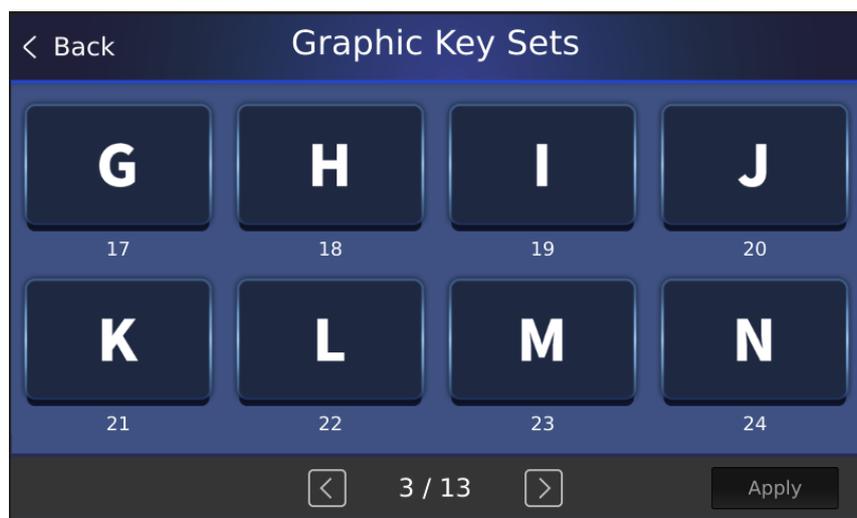
10. グラフィックキー：このオプションでグラフィックキーを設定します。本来、「CAMERA>Position 1/2/3/4」の4つのプリセットポジションは、カメラで撮影された画像を「Home」インターフェースの4つのプリセットポジションのサムネイルとして取り込みます。しかし、「グラフィック・キー」オプションで希望の画像を選択し、元のサムネイルと置き換えることができます。
→「Graphic Key」をタップしてください。

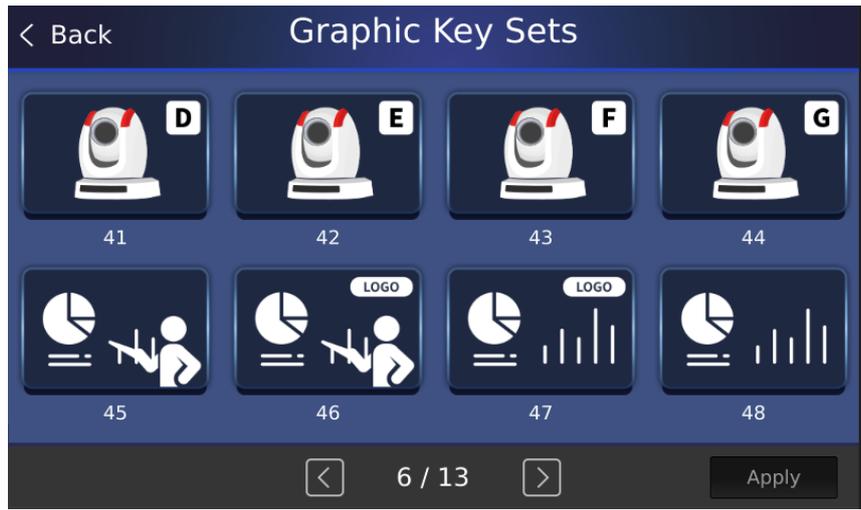
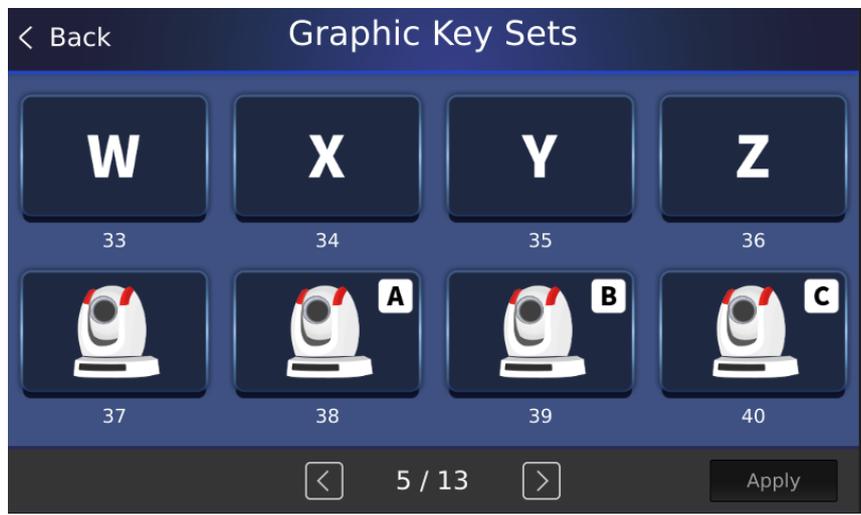
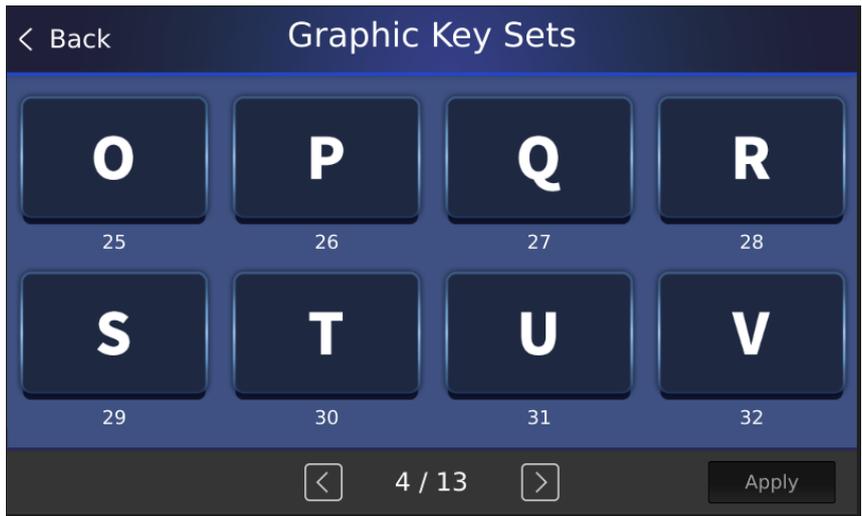


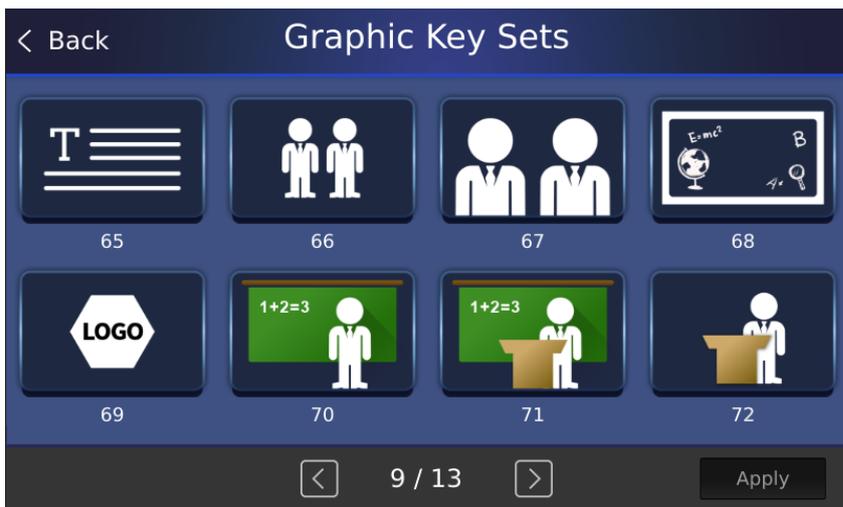
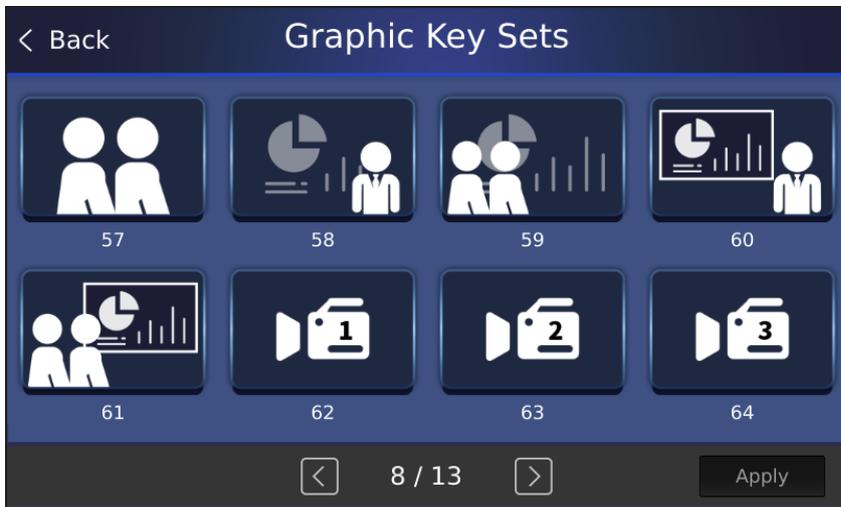
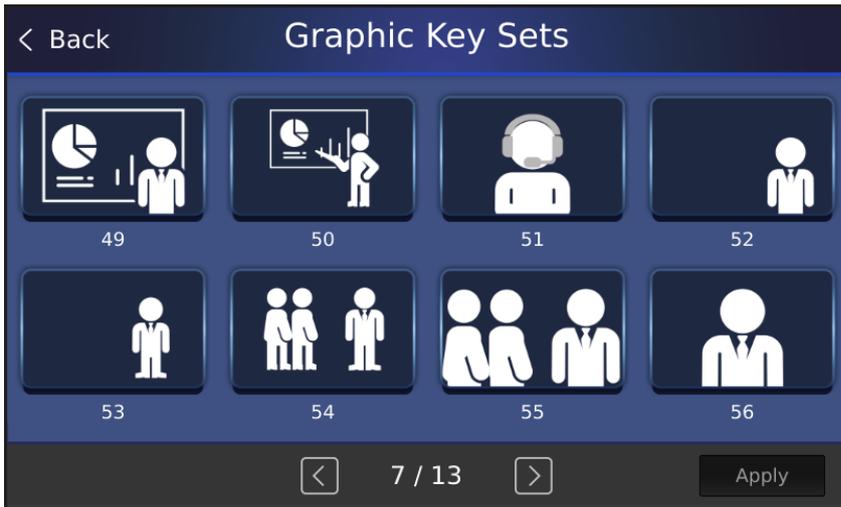
- その後、「ポジション画像」のインターフェースに入ります。ここでは「ポジション 1」を例にして、「ポジション 1」の下にある「編集」ボタンを押してください。



→その後、「Position Image」のインターフェイスに入ります。ここでは「Position 1」を例にして、「Position 1」の下にある「Edit」ボタンを押してください。







< Back Graphic Key Sets

 73	 74	 75	 76
 77	 78	 79	 80

< 10 / 13 > Apply

< Back Graphic Key Sets

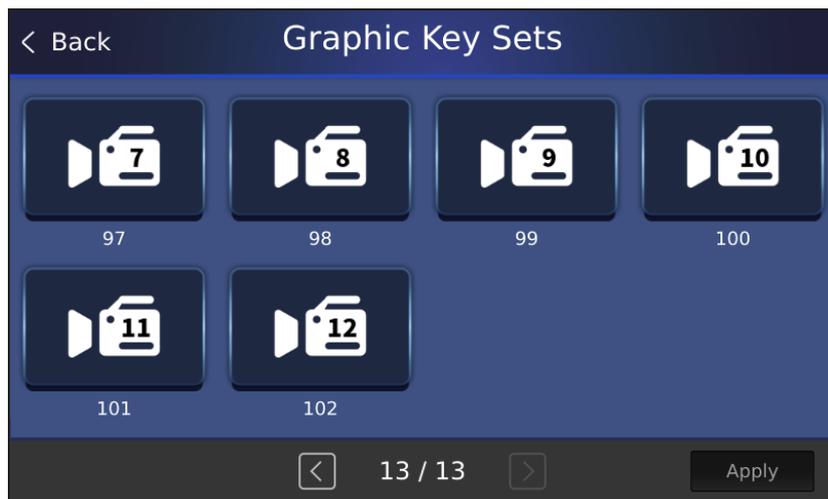
 81	 82	 83	 84
 85	 86	 87	 88

< 11 / 13 > Apply

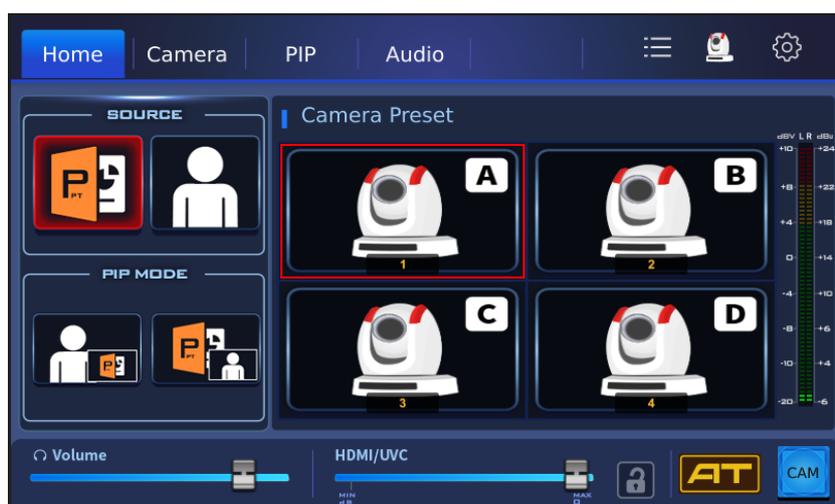
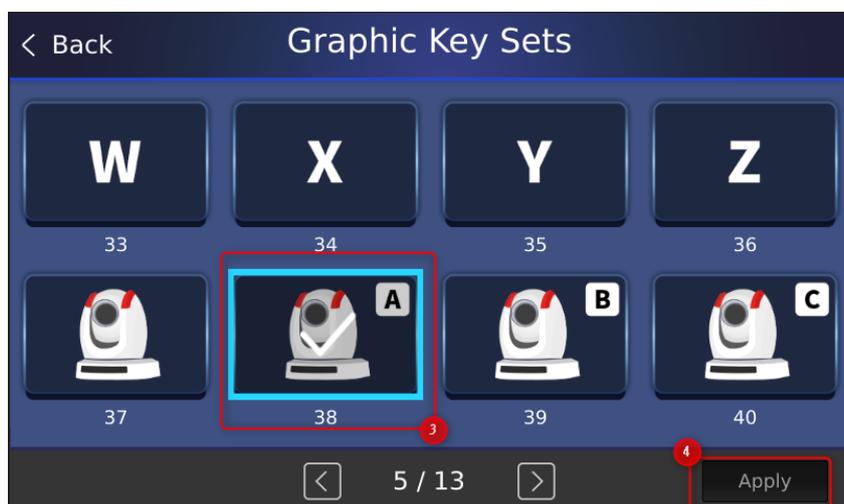
< Back Graphic Key Sets

 89	 90	 91	 92
 93	 94	 95	 96

< 12 / 13 > Apply



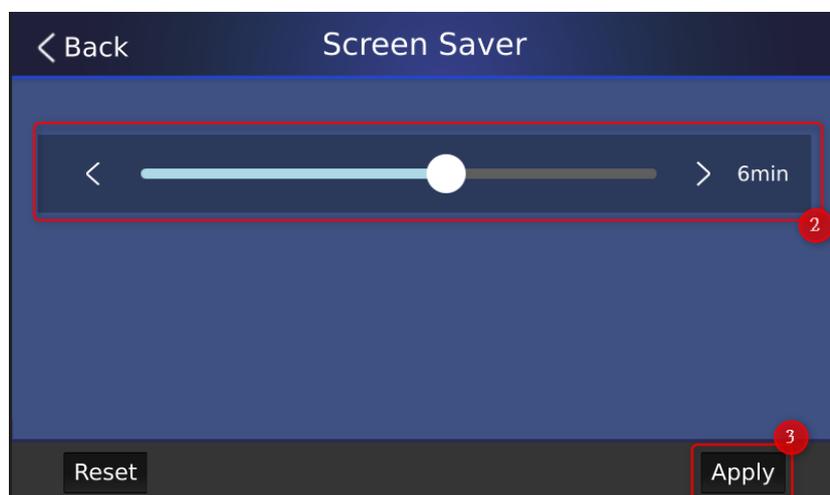
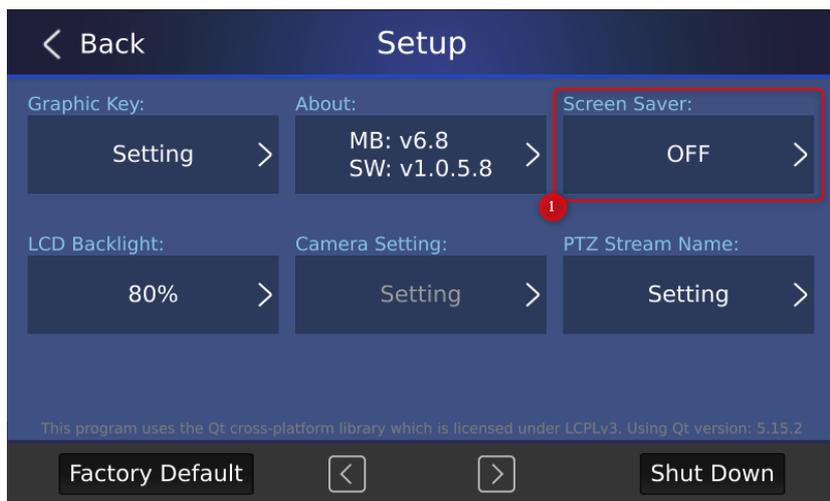
→グラフィックキーとして適用したいグラフィックが表示されたら、「Apply」ボタンを押してください。この時、「Home」インターフェイスから選択したグラフィックキーを見ることができます。



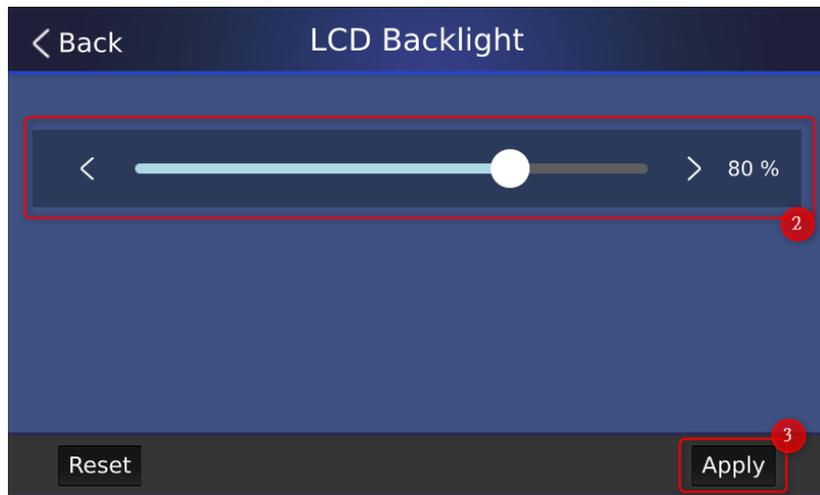
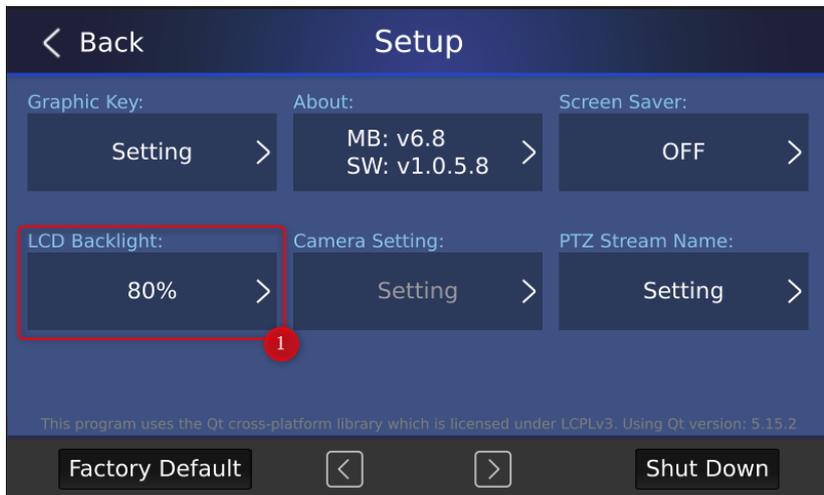
11. About : このボタンを押すと、レンタルマザーボードのバージョンとソフトウェアのバージョンが表示されます。さらに、「Upgrade」ボタンを押してファームウェアをアップデートすることができます。ファームウェアアップデート手順については、「ファームウェアアップデート」関連章を参照ください。



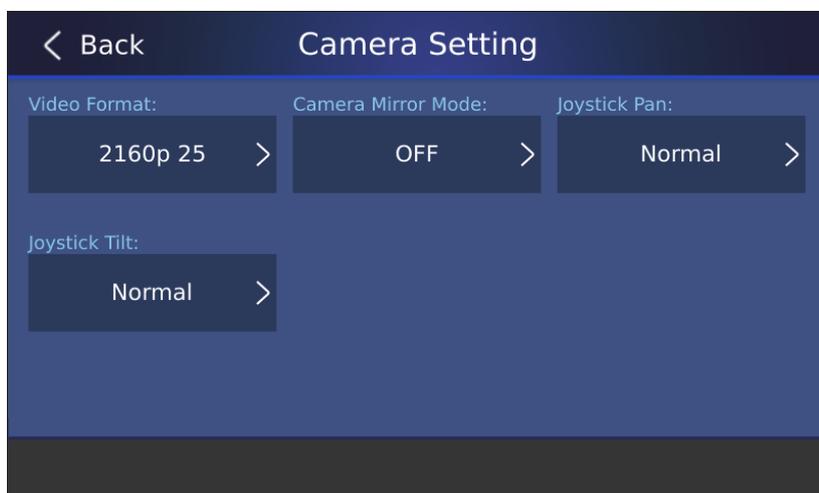
12. スクリーンセーバー : iCAST MINI のスクリーンを保護するために、この「スクリーンセーバー」オプションで iCAST MINI のスクリーンセーバーを有効にする待ち時間を設定できます。スクリーンセーバー」オプションを押して、スライダーでスクリーンセーバーの待ち時間を設定できます。待ち時間を設定したら、「Apply」ボタンを押してください。待ち時間が 0 分に設定された場合、スクリーンセーバーはオフになります。設定された待ち時間の間、iCAST MINI のスクリーンがタッチされないと、スクリーンセーバーが起動します。工場出荷時のデフォルトに戻すには、「Reset」ボタンを押してください。



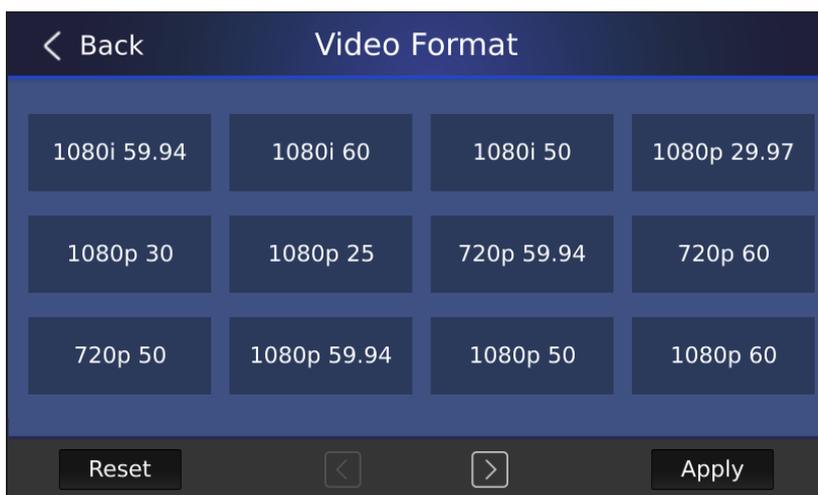
13. LCD Backlight : この「LCD バックライト」オプションで、iCAST MINI LCD モニターの明るさを設定できます。「LCD バックライト」オプションを押して、スライダを使用して、希望する LCD モニターの輝度パーセンテージを設定することができます。設定したら、「Apply」ボタンを押して、設定を終了します。「Reset」ボタンを押すと、工場出荷時のデフォルトに戻ります。



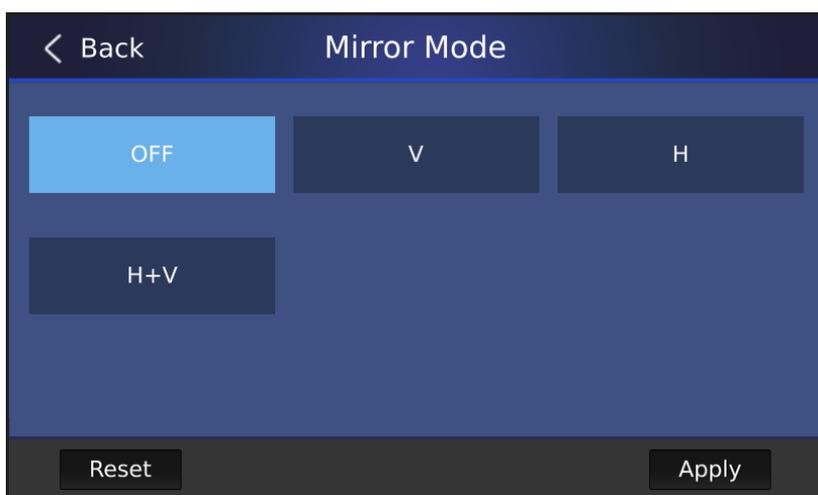
14. カメラ設定 : このオプションをタップして「カメラ設定」インターフェースに入ります。カメラ設定 "では、「Video Format」、「Camera Mirror Mode」、「Joystick Pan」、「Joystick Tilt」などのオプションを設定できます。「Camera Setting」インターフェースの各パラメータを設定するには、希望のオプションをタップし、「Apply」ボタンを押して設定を完了します。「Camera Setting」インターフェースは下図のとおりです。



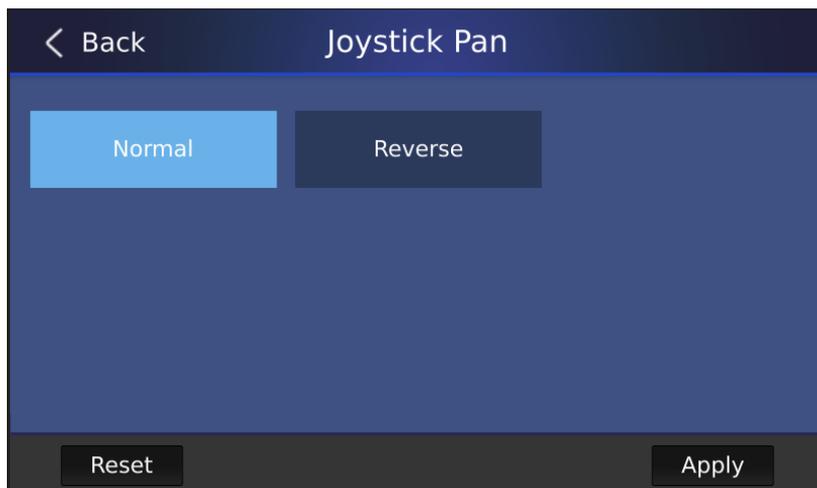
- ビデオフォーマット：このオプションでは、ご希望の出力ビデオ解像度を設定できます。



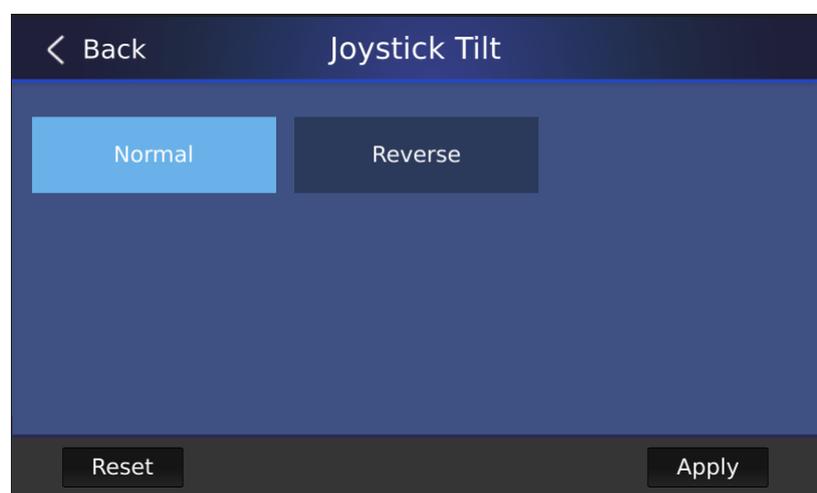
- ミラーモード：このオプションでは、カメラの出力画像を「垂直」、「水平」、または「水平+垂直」に選択できます。



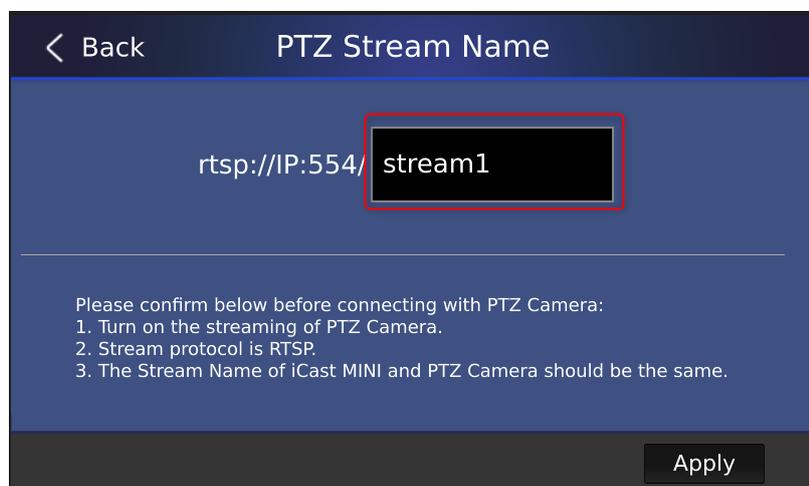
- ジョイスティック・パン このオプションでは、ジョイスティックが左側または右側に移動しているときに、カメラレンズの移動方向をノーマルかリバースかを設定できます。



- ジョイスティックのチルト：このオプションでは、ジョイスティックを上側または下側に動かしたときに、カメラレンズの移動方向が通常か逆かを設定できます。



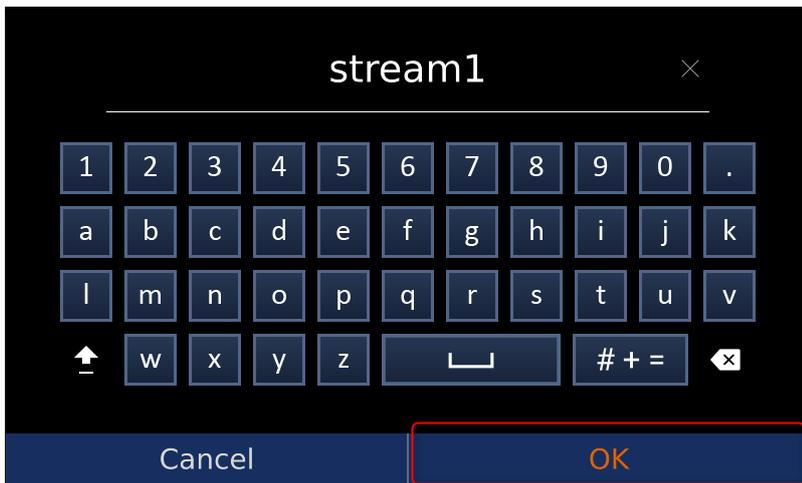
15. PTZ ストリーム名：このオプションでは、iCAST MINI に接続されている PTZ カメラの RTSP ストリーミング名を入力できます。iCAST MINI の「グラフィックキー」機能は PTZ カメラの RTSP ストリーミングによって実現されます。そのため、PTZ カメラのストリーミング名は iCAST MINI のストリーミング名と一致している必要があります。



注：Datavideo PTC-280、PTC-300、PTC-285、または PTC-305 シリーズカメラを iCAST MINI に接続する場合、メインストリームのデフォルトのストリーム名は「stream1」、サブストリームのデフォルトのストリーム名は「stream2」です。

また、これらのストリーム名はユーザーが変更することはできません。Datavideo PTC 140 または PTC 145 シリーズカメラを iCAST MINI に接続する場合、メインストリームのデフォルトのストリーム名は「live/av0」、サブストリームのデフォルトのストリーム名は「live/av2」です。

サブストリームのデフォルトのストリーム名は「live/av1」です。また、これらのストリーム名はユーザーが変更することができます。「ストリーム名」欄をタップし、下図に示すキーパッドから希望のストリーム名を変更することができます。修正が終わったら、「OK」ボタンを押してください。



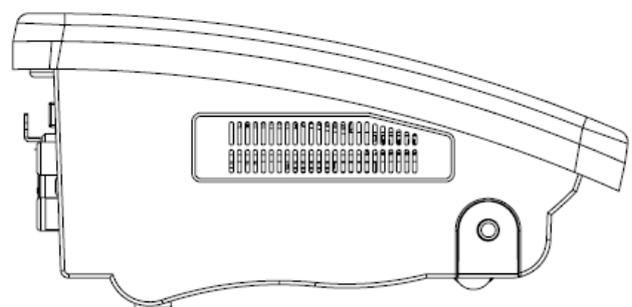
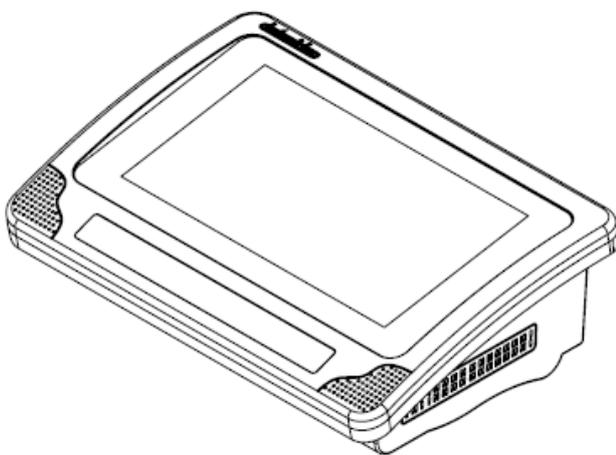
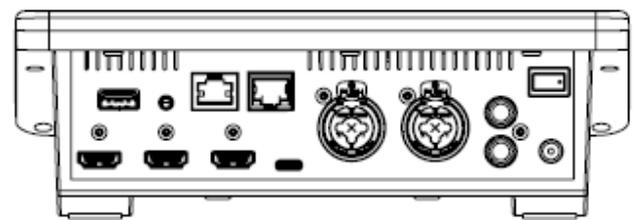
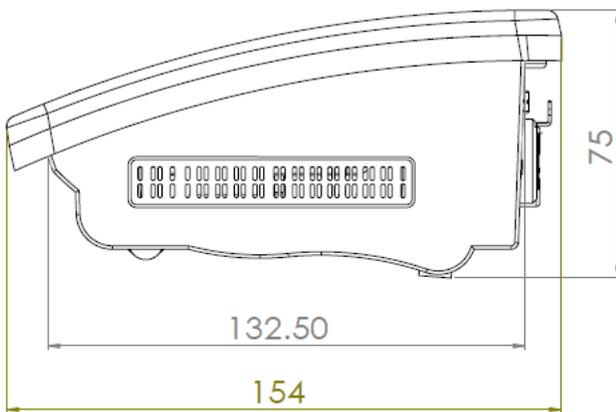
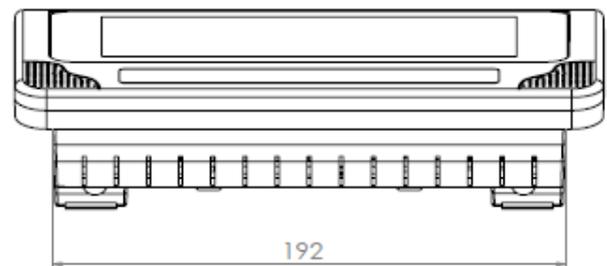
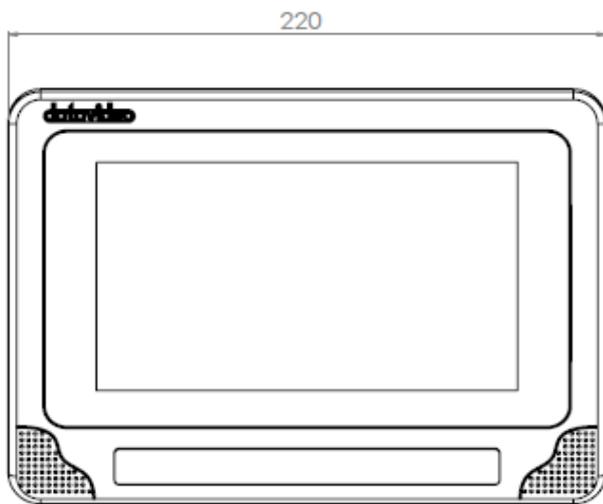
16. ディレイ切り替え：これはディレイ切り替えのオン/オフスイッチです。このオプションが「ON」に切り替わると、プリセットされた4つの「Camera Preset」画像を押して、プリセットされたカメラレンズ位置を呼び出す場合、iCAST MINI の Video OUT 出カインターフェースに接続されたモニターは、カメラ移動の画像をスキップし、プリセット位置を直接表示します。このオプションが「OFF」に切り替わると、接続された出力デバイスは、元の位置からプリセット位置へのカメラの移動のプロセスを表示します。

6. ファームウェア・アップデート

iCAST MINI 4K デュアルチャンネルプレゼンテーションスイッチャーのファームウェアをアップデートするには、以下の手順に従ってください。

1. 最新のソフトウェアアップデートファイル「icast mini_fwup_vx.x.x.x」を弊社ウェブサイトの iCAST MINI 製品ページ <https://www.datavideo.com/product/iCAST+MINI> からダウンロードしてください。
2. ダウンロードしたファームウェアを解凍してください。
3. フォルダ名が「datavideo」であるファイルフォルダを作成してください。その後、解凍したファームウェアファイルをこの datavideo ファイルフォルダに入れてください。
4. ファイル形式が FAT32 でフォーマットされた USB フラッシュドライブを用意してください。その後、datavideo ファイルフォルダを USB フラッシュドライブのルートディレクトリに配置してください。
5. USB フラッシュドライブを iCAST MINI のリアパネルにある「FW UPGRADE」インタフェースに挿入してください。
6. メイン画面の右上にある歯車アイコンをタップして、「Setup」インタフェースに入ります。その後、「Setup」インタフェースの 2 ページ目に進んでください。
7. Setup>About "に進み、「Upgrade」ボタンを押してください。
8. ファームウェアのアップデートが完了した後、ファームウェアが正常にアップデートされたことを示すリマインダーが表示されますので、iCAST MINI を再起動してください。
9. 更新されたファームウェアのバージョンを確認するために、「セットアップ」>「バージョン情報」に進んでください。

7. 外形寸法



8. 仕様

型番	iCAST MiNi
商品名	4K デュアルチャンネル・プレゼンテーションスイッチャー
ビデオ規格	4K & HD
ビデオフォーマット	入力: 3840x2160p: 30/29.97/25/24/23.98 1080p: 60/59.94/50/30/29.97/25/24/23.98 1080i: 60/59.94/50, 720p: 60/59.94/50 525i59.94 NTSC, 625i50 PAL 出力: HDMI 3840x2160p: 30/29.97/25 1080p: 60/59.94/50/30/29.97/25/24/23.98 UVC 3840x2160p: 30/29.97/25 1080p60/59.94/50/30/29.97/25 720p60/59.94/50
ビデオ処理	4K2K30 4:4:4、8ビット
ビデオ入力	2 x HDMI 1.4
グラフィックインターフェース	2 (HDMI 経由)
ビデオ出力	1 x HDMI 1.4 1 x USB 3.0 タイプ C (UVC)
ダウンコンバート出力	あり
アナログ音声入力	2 x 3 ピン XLR/1/4"(6.3mm)コンボソケット
アナログ音声出力	1 x ステレオ RCA セット (L/R) 1 x ステレオヘッドフォン
デジタル・エンベデッド・オーディオ対応	入力 2 チャンネル、出力 2 チャンネル
オーディオ・ディレイ・キャリブレーション	最大 170ms
A+V スイッチング	対応
ピクチャー・イン・ピクチャー	1
エフェクト	カット
カメラコントロール	DVIP/RS-422/RS-232
内蔵オーディオミキサー	あり
ファームウェア更新	USB による
特別機能	7 インチ・タッチスクリーン・ディスプレイ
Chassis	Unibody
寸法 (LxWxH)	220 x 154 x 75 (mm)
重量	1.1 kg
電源	DC 12V 18.7W
動作温度	0~40 °C

9. サポート窓口

datavideo JAPAN

株式会社 M&Inext datavideo 事業部

〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町 2-7-10 関内フレックスビル 210

TEL:045-415-0203 FAX:045-415-0255

MAIL: service@datavideo.jp URL: <https://datavideo.jp/>

datavideo は Datavideo Technologies Co., Ltd の登録商標です。

本書を権利者の許可なく配布、インターネットでの公開等を行うことは著作権法上禁止されております。

日本語訳・制作・著作 株式会社 M&Inext

2023 年 12 月 18 日改訂